

〈史料紹介〉

# 史料紹介 「関東代官竹垣直道日記」(7)

西沢 淳 男

## 凡例

一、本稿は、東京大学史料編纂所蔵「竹垣直道御代官日記」世三、嘉永五年（一八五二）正月～八月迄を翻刻したものである。

一、翻刻にあたって、原則として原本の体裁を尊重するようにした。特別な場合を除き常用漢字に改め、読みやすくするために適宜読点「、」と並列点「・」をつけた。

一、異体字は正字または新字に改めた。変体仮名は平仮名に改めた。

合字の「カ」（より）はそのままとした。助詞として使用されている、「江」（え・へ）・「而」（て）・「与」（と）・「二」（に）・「者」（は）・「茂」（も）及び井などは、活字を小さくして使用した。

一、虫損箇所は、□・「」で、判読不能文字は\*で示し、推読できた場合は（ ）で傍注とした。誤記・意味不明などの場合には、正字を傍注とするか、（ママ）を付した。脱字は（脱）と注記した。疑念が残る場合には、（カ）を加えた。

一、抹消された文字で判読できる場合は、文字を示し、文字に抹消記

号として——を入れ、訂正文字がある場合、わきに記した。抹消文字が判読できない場合、□・「」に抹消記号として——を入れ、訂正後の文字がある場合、わきに記した。

一、平出は二字あけ、闕字については一字あけとした。

一、日記中の図版は、そのまま手を加えず複写した。

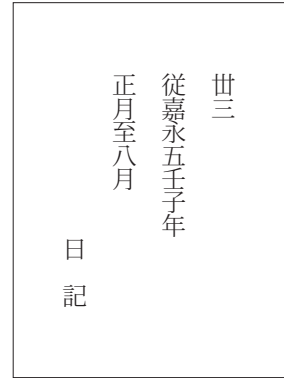
（にしざわ あつお・高崎経済大学地域政策学部教授）

## 【前号までの訂正】

「関東代官竹垣直道日記」(2) 116頁上段8行目 再言↓再答

「関東代官竹垣直道日記」(2) 153頁上段14行目 脇差・刀↓脇差刃

(表紙)



○正月元日 晴

一、明六つ半時早立出又登 城、年頭御礼申上ル、奉行衆其外年礼申

述ル○四つ半時過退出○年礼廻勤如左

松平伊賀守殿 松平玄蕃頭殿 阿部伊勢守殿

大岡主膳正殿 池田播磨守殿 青山 録平

齊藤嘉兵衛

右相仕廻、昼九つ半時過帰宅 但弁当無之

一、年賀如家例相祝ス○役所一統出前礼受ル

一、年賀来客

鈴木大太郎通 近藤 平格通 齊藤嘉兵衛

青山 録平 柏木誠大夫 外八拾式人

同日 晴

一、明六つ半時過出宅、年礼廻勤

井戸对馬守 久世大和守殿 松平和泉守殿

遠藤但馬守殿 鳥井丹波守殿 本多越中守殿

酒井右京亮殿 牧野備前守殿 本庄安芸守殿

内藤紀伊守殿 一色丹後守殿 諏訪庄右衛門

清岸院 安藤正三郎通 佐々木道太郎

御牌前拝礼 里見源左衛門 内藤市十郎通 松平鈞之助替

西井源次郎 久貝因幡守 篠本彦次郎

中嶋平四郎 石川 新助 屋代増之助

野中鉄太郎 河野七太郎通 石河土佐守殿

松井助左衛門 大森善次郎 大沢三七郎通

森川 兵助 石尾彦四郎通

右相仕廻、八つ半時過帰宅

一、年賀来客

田口小右衛門 田中庄次郎 林部善一郎

山内総左衛門 井上新右衛門 五味与三郎

築山権九郎 竹内清太郎 里見源左衛門

三雲新左衛門 西井源次郎通 安西 惣助

松井助左衛門 戸田 五助 安藤正三郎通

内藤勝太郎通 戸田久次郎 大沢三七郎通

大森善次郎 小笠原半十郎 外四拾人

同三日 晴

一、明六つ半時過出宅、年礼廻勤

川崎平右衛門	都筑金三郎	岸本金八郎
井上三郎右衛門	中村八大夫	近藤 平格通
戸田 五介	堀田中務少輔殿	中村 為弥
岡田利喜次郎	田口加賀守	林部善太左衛門
久須美佐渡守通	松平河内守殿	山本新十郎
土屋 帶刀	立田岩太郎	山内総左衛門
内山七兵衛	平塚金兵衛	藤方彦市郎
大熊善太郎	井上新右衛門	古山善一郎
小田又七郎	丹羽莊四郎	金田 小膳
小泉次大夫様 <small>替</small>	西尾寛一郎	中野又兵衛
森岡岡太郎	高橋鍾之助	金井伊大夫
白石 吉郎	後藤一兵衛	大草太郎左衛門
築山権九郎	後藤与兵衛	勝田 次郎
吉岡栄之助	内藤茂之助通	

右相仕廻、八つ時過歸宅

一、年賀来客

河嶋才右衛門	杉浦正一郎通	林部善太左衛門
石川 新助	亀里義之助	小田武者五郎
杉原新右衛門	佐々木道太郎	大草太郎左衛門
後藤与兵衛	勝田 次郎	奥村季五郎通

同四日 晴

一、朝五つ時過出宅、年礼廻勤

岡田利喜次郎	吉岡栄之助	土屋 帶刀
小高登一郎	吉田定之丞	後藤錠太郎
野中鉄太郎	外廿一人	

三雲新左衛門

勝安兵衛通

塚越 藤助

小高登一郎

向井 将監

比留間兵三郎

田口小右衛門

柑本兵五郎

高橋 平作

今堀千五百蔵通

右相仕廻、八つ半時歸宅

一、年礼来客

小林藤之助	平塚金四郎	荒井郁之助
小泉治大夫様御通	岸本金八郎通	

一、朝四つ時過両国米沢町を出入、横山町三丁目、馬喰町四丁目迄焼失、右平出三付 御母様勝江御立退、おかよ・おみち・おたのも同

所江立退<sup>(平出)</sup> 御母様夜三人御帰、子供兩人も一同帰、夕七時半時  
過及鎮火、右出火見廻如左

同五日 晴

勝安兵衛通 同権一郎同 今堀豊太郎同

一、在宿

杉浦正一郎同 関捨四郎同 内藤勝太郎同

一、諸向江出火見廻及挨拶

近藤 平格同 小泉久太郎同 安藤次郎吉同

一、年礼来客

増嶋涛太郎 吉岡栄之助 築山権九郎

金井伊大夫 戸田嘉十郎 田口加賀守

赤木 正蔵 林部善一郎

川崎平右衛門 松平八郎兵衛 竹村九郎右衛門

同断、使差越候方如左

成瀬藤右衛門 高橋 平作 諏訪庄右衛門

都筑金三郎 塚越 藤助 岡田利喜次郎

西井乙二郎 内山伊三郎 森川 兵助

豊田藤之進 松平釣之助 大草太郎左衛門

古山善一郎 大熊善太郎 高木 昌助

池田播磨守殿 内藤茂之助 関保右衛門

都筑源七郎 西尾寛一郎 外拾五人

井上三郎右衛門 久須美六郎左衛門 丹羽莊四郎

同六日 晴夜雨雪

戸田 久助 本多 寛司 柏木誠太夫

一、在宿

柑本兵五郎 山本新十郎 石尾彦四郎

一、年礼来客

河野七太郎 杉原新右衛門 川嶋才右衛門

都筑金三郎 藤方彦市郎 河野七太郎通

立田岩太郎 久貝因幡守 荒井甚之丞

関保右衛門通 屋代増之助 山本新十郎

岡村又兵衛 中野又兵衛 大澤三七郎

柑本兵五郎 向井 将監 内藤茂之助通

竹内清太郎 柴田善之丞 成瀬藤右衛門

立田岩太郎 久須美六郎左衛門通 白石 吉郎

同役兵八軒 外町人共惣躰六拾人余

外拾五人

夕七つ時過御貸付役所江土佐守殿・河内守殿被相越、保右衛門も

一、河内守殿三名宛切紙到来、近々<sup>(平出)</sup> 右大将様 御成御沙汰三付

相越候三付、同所江罷越、無程鎮火三付、一同退散いたす、藤右

衛門并御勘定方其外も相越 右京亮殿御用有之間、明七日四時罷出居候様、且四つ時揃候得共

五時揃之旨、西丸当番御目付中の之達書写差添来ル、例之通三名御受見届、御鷹野役所江遣ス

一、久貝・内藤・安藤江火事見廻挨拶遣ス  
一、年賀来客  
赤木唯五郎  
吉川銚七郎

同七日 晴

一、朝六つ半時過、西丸江罷出候処、斉藤も逐而相越候ニ付、同人江御

同十日 曇南烈風

規定向之儀者相讓退出、四つ時過帰○役所出勤、例年之通御用始

一、在宿

いたす、式分役所并御貸付役所懸々江も相廻、九つ時過帰宅

一、年礼来客

一、支配所年礼受ル

豊田敬之助

高梨兵左衛門 河野 周吉 渡辺七左衛門

幸手・杉戸・栗橋宿役人共

同十一日 晴夕曇

一、年礼来客

一、朝五つ時過登（平出） 城○御具足開御祝義御餅頂戴いたす、四つ半

豊田藤之進通 中村 為弥 中野又兵衛

時過帰宅

関捨四郎通 外五人

一、万歳来ル

一、年賀来客

同八日 晴

塚越 藤助 石尾彦四郎

一、在宿

一、丹羽・岸本・岡村江火事見廻挨拶遣ス

同十二日 曇

一、昼九つ半時過出宅○亀沢町江立寄○関江相越、久須美六郎左衛門・

豊田藤之進参居、久須美順三郎・伊庭水斎・田中庄二郎来談話

同九日 晴

一、在宿

夜四時過帰宅

一、今六つ半時前御供揃（平出） 右大将様橋場筋江被為 成、青山出

一、龍太郎、近藤・小泉江参ル

役

同十三日 晴

一、在宿

一、久貝因幡守年礼ニ来ル

同十四日 晴夕曇 節分

一、在宿

一、餅搗

一、加納屋治五郎来、不逢

同十五日 晴

一、朝五つ時過出宅○下御勘定所江出(平出) 御殿江出ル○月並御礼申上

ル○四つ半時過帰○役所見廻、四つ半時過帰宅

一、中嶋平四郎年礼ニ来ル

同十六日 晴

一、在宿

一、宮部潤八郎孫召連来、逢

一、安藤正三郎江文通、旧冬悴婚姻歡時服乞ッ贈ル

同十七日 曇

一、在宿

一、桑山圭助方書状・足袋来、粘人到来

同十八日 晴

一、朝四つ時役所出勤○評席申渡有之○九つ時帰宅 但

弁当無之、今日方惣出

一、早朝御魚上右之、御鷹野役所江出勤、見分いたす

一、明日新部屋達有之

一、おかよ・おみち浅草観音江参詣いたす

同十九日 半晴

一、例刻出勤、九つ半時帰宅

一、新部屋申合有之、青山出ル

一、勝安兵衛年礼ニ来、逢

同廿日 半晴

一、役所休日

一、今晚七つ時過下谷広徳寺前出火○龍太郎、室田与左衛門方江火事

見廻ニ参、同人隣家迄焼候由

○諸向火事見廻出ス

豊田藤之進

勝安兵衛

内藤茂之助

小林其右衛門

高木茂久左衛門

宮部潤八郎

赤木唯五郎

右之外、御勘定所向同役者役所出ス

一、明廿一日龜有筋（平出） 御成二付、昼八時半時過出立、平小笠原勝次郎同道、隅田堤筋梅莊一覽花未開、木母寺一覽、暮六時遅々、立石村名主新右衛門宅着、泊  
 ○四ツ半時焚出所見廻、同刻過泊江帰ル

同廿一日 晴風

一、朝五つ時立石出立、龜有江相越○昼四時半時過御場濟、御膳所恵明寺江被為（平出） 入、昼九つ時過還（平出） 御、例之通両度（平出） 御目見いたす、小普請方鈴木分左衛門・御畳奉行金田藤七郎一同出立

御規定

○御供揃六時半時前 ○御供越中守殿

○御成・還 御共御船○御目付 貴志孫大夫 大久保彦左衛門

○田安中納言殿 御出有之、御膳所百姓忠二郎宅

○一橋刑部卿殿 御出有之、御膳所百姓忠二郎宅

○御両卿御供方江も御賦被下候

右相濟、夕七つ時帰宅

一、土佐守殿を三分宛切紙到来、御用談有之候間、明廿二日申合意人（平出） 御殿江罷出候様申来、青山を御受差出、自分罷出候積、青山

江及打合

同廿二日 晴

一、朝五つ半時過（平出） 御殿江出ル○土佐守殿を在宅御鳥見原金次郎・大場源五郎風聞内糺之儀、主膳正殿御用之由、御談有之、御書取

志通御渡有之、受取○四時半時過歸○役所出勤○前条風聞糺之儀、青山支配所在宅之もの二付、土佐守殿御談之趣及演舌、御書取相渡○評席申渡有之○例刻帰宅

同廿三日 曇夕を雨

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

同廿四日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、関江又通、このはた遣、返書・移来ル

一、順三郎江又通、懸物返、受取来ル

同廿五日 晴

一、朝五つ半時過、下御勘定所江出ル○（平出） 御殿江出ル○土佐守殿江去ル廿二日御談有之候内糺之儀、原金次郎者青山取調申立候積、

大場源五郎者勝田支配所最寄二付、同人取調申立候様可申通哉之

旨相伺候処、其通三而可然旨被仰聞、勝田出合居候間、則右之趣

及通達○九つ時帰○役所出勤、例刻帰宅

一、浜御庭江（平出） 御成有之、出役齋藤

一、おたの義、おるち不快二付、昼後を同入部屋江參ル

同廿六日 昨夜を雪、夕晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

同二日 半晴

同廿七日 晴

一、例刻出勤○鴻巣宿出火一件、御咎申渡○同断帰宅

一、例刻出勤○桶川宿金公事及吟味、外口書申渡有之○同断退散○  
齊藤同伴、青山不快見廻申置、帰宅

一、浅井宗寿来、不逢○杉浦正一郎来、返金持参受取

同三日 晴

同廿八日 晴寒気強

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、朝五つ時過登<sup>立出</sup>城○月並御礼申上ル○四つ半時過歸○役所出勤

一、佐々木信濃守江年始状、返書為持遣又  
一、明珍主水江及文通、留守之趣申越

例刻帰宅

一、志賀金八郎江縁談挨拶、昇三郎江申合遣又

同廿九日 晴

同四日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、御鷹野方組頭鈴木八十五郎御場出役差免、頭取森内廉威組頭勤方  
被 仰付候段、奉行衆被仰渡候旨、河嶋才右衛門申渡有之

同五日 晴

同晦日 半晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、例刻出勤○青津等左衛門江内糺之義申談又○同断帰宅

一、高橋平作江文通、古筆為持遣、返書来ル  
一、吉田半左衛門江文通、短冊頼遣、同廿枚贈ル

二月朔日 曇夕雪

同六日 半晴夜二雨

一、例刻出勤、同断帰宅

一、朝房川渡・中田御関所番嶋田勇三郎為年礼相越、逢

一、青山江文通、不快見廻なめ物遣又

一、下例刻出勤、役所半引○評席申渡有之○同断帰宅

一、木村義兵衛来、逢



同七日 晴夕曇 初午

一、初午二付、役所休日

一、青山江文通、不快見廻、糞漬一壺遣、返書来、及再啓

同八日 雨

一、例刻出勤、同断帰宅

一、今晚七つ時比、金井伊大夫を為知、今日被為（平出） 召候段申来、

今日西丸御納戸頭被 仰付候由

一、青山江文通、返書来

同九日 雪昼後曇

一、朝五つ半時出宅○下御勘定所江出ル○（平出） 御殿江出ル○青山貸地

伺書、高橋漣之助江出ス○九つ時帰○役所出勤、例刻帰宅

一、青山江文通、伺書差出候段、申遣ス

同十日 晴

一、例刻出勤○日限申渡有之○同断帰宅

同十一日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、たけ来 おかよ・おみち茶ノ湯稽古始ル

同十二日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

同十三日 雨

一、例刻出勤、同断退散○斎藤同道、青山江不快見廻相越、逢○八つ時比帰宅

一、岸本金八郎来、逢

一、おたの、おるち部屋を下ル

同十四日 半晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、青山江文通、懸物返ス、及返書

同十五日 曇少雪

一、朝五つ時過登（平出） 宮○月並御礼申上ル○四つ半時過帰○役所出勤○下総国中曾根村一件及吟味○例刻帰宅

一、近々（平出） 御成御沙汰有之三付、明十六日新部屋申合達、御勘定所

を達之旨御鷹野方申聞ル

一、御母様御風邪三付申遣、坂上玄真来、逢

同十六日 曇少雪

一、朝五つ半時登平出 城○御上り後、新部屋申合有之、近々木下川

筋御成御沙汰、御供揃六つ半時前之旨、其外例之通相済○九つ時

過帰○役所出勤、例刻帰宅

一、おたの、おるち部屋江上ル

一、杉浦正一郎江上娘酒湯、内祝赤飯到来

同十七日 晴

一、例刻出勤○鴻巢宿出火一件落着申渡平出○御成諸色見分いたす

○例刻帰宅

一、北村藤二郎妻来、逢

同十八日 半晴

一、明六つ時出宅、木下川筋平出 御成先出役、朝五つ時比同所二着

昼四つ半時過御膳所木下川村浄光寺江上 御入込、九つ時過還平出

御、小普請方黒川嘉兵衛・御豊奉行金田藤七郎・浄光寺一同、例

之通平出 御成・還平出 御共、御目見いたす

御規定

○御供揃、六つ半時前御船

○御膳所木下川村浄光寺

○御小休所亀戸村梅屋敷喜右衛門

○御通抜、木母寺境内○百姓孫左衛門

○若年寄主膳正殿

○御側衆若狭守殿・丹波守殿

○御目付鶴殿甚左衛門・松本十郎兵衛

右相済退散○押上長寿寺安住院墓江初而参詣いたす○亀沢町屋敷

江立寄○八つ半時過帰宅

同十九日 朝薄雪曇

一、例刻出勤○日限申渡有之○諸式見分いたす○同断帰宅

一、坂上玄丈来、逢

同廿日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅○明二十一日平出 線姫君様山王 御宮参、

諸式帰懸見分いたす

一、同断二付、御賦炊出場、夜四つ時見廻相済、帰宅

同廿一日 半晴

一、例刻出勤○落着物口々申渡○同断帰宅

一、今五つ時前御供揃二而平出 線姫君様山王 御宮参有之、山王并西

丸江御賦向相廻、御鷹野方出役いたす

一、明珍主水来、逢

一、松平陸奥守江使者差越、同人妻死去、国許江遺骸相送候二付、人

馬継世話相成候由を以銀三枚・葛疋箱相贈ル

同廿二日 雨

- 一、例刻出勤○昨廿一日山王 御宮參、残物・諸色見分いたす○同断  
帰宅

同廿三日 晴

- 一、例刻出勤、同断帰宅
- 一、高橋平作江文通 返書、かるた三枚戻ル
- 一、市村丈右衛門来、おきく逢、縁談之事申来ル

同廿四日 曇

- 一、例刻出勤、同断帰宅
- 一、夜三人岡田利喜次郎切紙到来、御取箇之儀に付呼出申来、明日西  
丸江罷出候二付、下江者不罷出段、新五郎呼寄申聞ル
- 一、近々平出 右大将様 御成御沙汰二付、丹波守殿御用有之候間、明  
日四つ時西丸江罷出居候様、例之通達有之候段、御勘定所方達有之

同廿五日 曇

- 一、朝五つ半時出宅、西丸江罷出ル、四つ半時比新部屋申合有之、近々平出  
右大将様、船堀筋 御成御沙汰之旨、例之通申合相濟、田村  
備後守・内藤隼人正出席、御目付浅野一学・遠山金四郎罷出ル、  
九つ時過歸○役所出勤○評席申渡有之○例刻帰宅
- 一、御取箇方方呼出有之、新五郎罷出、小林藤之助江出懸名代相頼候処

去ル亥年御取箇伺之通相濟候段、小高登一郎申達候由、藤之助も

同断達有之候由

- 一、奥山重太郎方為聞合、同人宅最寄江源太夫差遣ス

同廿六日 晴

- 一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅
- 一、朝青山来、今日方出勤之義申置

同廿七日 朝方雪夕雨

- 一、例刻出勤、同断帰宅
- 一、右大将様、船堀筋平出 御成有之、斎藤出役
- 一、桑山圭助方書状、足袋・柿到来
- 一、明廿九日浜平出 御成有之候段、例之通御勘定所方達有之

同廿八日 晴 午前曇

- 一、朝五つ時過登平出 城、月並御礼申上ル、九つ時歸○役所出勤○  
評席申渡有之、例刻帰宅

同廿九日 晴

- 一、例刻出勤○同断帰宅
- 一、今六時御供揃二面浜御庭平出 御成有之、出役青山
- 一、近藤平格母来、逢

同晦日 曇

一、例刻出勤、同断帰宅

閏二月朔日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、公家衆 (平出) 御対顔有之

一、八つ時過る齋藤同道<sup>二</sup>而青山江参、暮六つ時過帰宅○土産相贈ル

一、加納屋次五郎廻船御用達見習被 仰付候旨吹聴<sup>三</sup>相越申置

同二日 雨 遠雷

一、例刻出勤、同断帰宅

同三日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、朝山縣勝蔵来、逢、贈物いたし、移品遣ス

同四日 晴四つ時過雪

一、朝五つ半時過出宅、下御勘定所江出ル○定免伺書岡田利喜次郎江出ス○齋藤出役取立伺書御下知済、名代相心得 小高登一郎を受取、其余同役出懸差出物いたす○ (平出) 御殿江出、九つ時過帰宅○役

所出勤、例刻帰宅

同五日 晴

一、朝五つ半時過出宅○金井伊大夫方江相越、御役替歓申置、四つ半時帰○役所出勤○口々落着物申渡有之、例刻帰宅

同六日 曇昼後雨

一、例刻出勤○下総国浮谷村助次郎江同村常右衛門為疵負候一件吟味 (武家) 同人手鎖・宿預申付ル○同断帰宅

一、龍太郎新宿角場江稽古<sup>三</sup>参、百目筒打様いたし、無滞相済候由

一、明珍江文通、返書来ル

同七日 晴時々雲立

一、例刻出勤、同断帰宅

一、関江文通、尚信懸物為見<sup>三</sup>遣、返書来ル

一、明珍主水来、逢

同八日 晴夜雪降

一、例刻出勤、同断帰宅

一、近々 (平出) 御成御沙汰<sup>三</sup>付、越中守殿御用有之候間、明九日四つ時可罷出段、御目付方達有之旨、御勘定所達有之

同九日 晴夕曇

- 一、朝五つ半時過登<sup>(平出)</sup> 宮○新部屋申合有之、目黒筋御供揃六つ半時、  
其外略ス○九つ時過歸○役所出勤、例刻帰宅

同十日 曇

- 一、例刻出勤、同断早メ帰宅
- 一、朝青山方文通、今日出役繰替頼来、承知及返書
- 一、斎藤方文通、今日歸府之旨申来、及返書

- 一、関方文通、懸物代差越、及返書
- 一、明十一日目黒筋<sup>(平出)</sup> 御成ニ付、昼八つ時過出立、広尾町桃源亭ニ

男 而小休、七つ半時前上目黒村百姓伊三郎宅<sup>(江着)</sup> 泊○炊出場、同  
 村寿福寺<sup>(江着)</sup> 為見廻、四つ時過參、四つ半時帰宿、同寺今般初<sup>(而焚)</sup>  
 西 出場ニ成ル

同十一日 晴曇

- 一、朝六つ半時過出立○下目黒村祐天寺茶所見廻○目黒不動參詣、所々  
一覽、祐天寺<sup>(江着)</sup> 歸、相話居、昼九つ時少々過<sup>(平出)</sup> 御入込有之、小  
普請方鈴木分左衛門・御豊奉行太平伊十郎一同<sup>(平出)</sup> 御成・還  
御共、例之通<sup>(平出)</sup> 御目見いたす、九つ半時比還<sup>(平出)</sup> 御相濟

御規定

- 一、御供揃六つ半時 一、御膳所祐天寺

- 一、若年寄但馬守殿、御目付長谷川甚兵衛、右相濟御場所引払、夕

七つ時過帰宅

同十二日 半晴

- 一、例刻出勤○下総<sup>(武蔵)</sup> 国細間村地境出入及吟味○同断帰宅
- 一、龜沢町屋敷組合非常廻、今日初<sup>(而)</sup> 順番相当り候ニ付、昼中田力・  
中間老人、夜中間兩人遣ス

同十三日 晴

- 一、例刻出勤○目黒 御成諸色残物其外見分○同断帰宅
- 一、小笠原重平来、逢
- 一、明珍<sup>(江着)</sup> 文通、久吉兜返ス、受取来

同十四日 晴午後曇

- 一、例刻出勤○武州幸手宿八右衛門、相手同宿太兵衛相続金出入、口  
書申付、其余落着物口々申渡有之○同断帰宅

同十五日 雨

- 一、朝五つ時過登<sup>(平出)</sup> 城、月並御礼申上ル、四つ半時過歸○役所出勤  
例刻帰宅

同十六日 雨

- 一、例刻出勤、同断帰宅

同十七日 雨

- 一、例刻出勤、同断帰宅
- 一、小泉久太郎来、逢

同十八日 雨

- 一、例刻出勤、同断帰宅
- 一、吹上御庭を刑部卿殿亭江<sup>(平出)</sup> 御立寄有之、青山、斎藤出役代合いたす

一、よの来、逢

同十九日 雨

- 一、例刻出勤○武州細間地論・地改取計候段申渡○同断帰宅
- 一、今堀江文通、妻病氣見廻、菓子・桜味噌遣、返書来

同廿日 半晴

- 一、例刻出勤、同断帰宅
- 一、去ル十七日丹羽荘四郎方使者を以、楊善院遺物長峯筆寒山拾得懸物一幅相贈候<sup>二</sup>付、今日源太夫使者<sup>二</sup>而挨拶申遣又

同廿一日 晴

- 一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、杉浦正一郎来、逢

一、箱崎田安殿屋敷江<sup>(平出)</sup> 御成有之、青山出役

一、亀沢町屋敷非常廻順番<sup>二</sup>付、昼侍老人・中間老人差出、夕方中間式人差出入

一、明後廿二日清水殿<sup>(平出)</sup> 御立寄被 仰出有之候段、御勘定所方達有之

同廿二日 晴

- 一、例刻出勤○下総国鎌ヶ谷村及惑乱候一件口書申付ル○同断帰宅
- 一、大坪万大夫来、土産持参ル、逢断
- 一、高木茂久左衛門妻来、逢

同廿三日 晴

- 一、昼九つ半時出宅、今四時御供揃<sup>二</sup>而吹上御庭を清水殿屋敷江<sup>(平出)</sup> 御進振<sup>立高</sup><sup>二</sup>付、同所江出役、今朝を斎藤出役いたし居、交代いたす、御馬方諏訪部八十郎外式人一同相話ル、夕飯出ル、暮八つ半時還<sup>(平出)</sup> 御、引続退散、五つ時帰宅
- 一、後藤一兵衛方切紙、孝行もの之義<sup>二</sup>付、談有之、一兩日之内、<sup>(平出)</sup> 御殿江罷出候様申来ル

同廿四日 曇夜雨

- 一、例刻出勤○武州代山村ふさ、相手寺山村光岳地所出入取扱申渡

○同断帰宅

一、今堀千五百蔵妻、一昨廿二日夜病死いたし候段、昨朝為知越候<sup>二</sup>付、今日龍太郎悔<sup>二</sup>参ル

同廿五日 晴

一、朝五つ半時過出宅○設楽八三郎去々戌御年貢銀・米凡積皆濟御届如左出ス

○伊勢守殿<sup>三</sup>富甚左衛門

○主膳正殿中久喜專司

男 淳 沢 西

右相濟、下御勘定所江出ル○手代上下勤願書、月番利喜次郎出勤無之<sup>三</sup>付、清太郎江出ス○<sup>平出</sup>御殿江出ル○龍太郎芸術短冊引替式枚差出候処、四枚差出候事之旨<sup>二</sup>而戻、受取帰○松戸宿手判江書直し濟、山田金蔵<sup>二</sup>受取○粕壁宿八郎御称誉之義<sup>二</sup>付、右平蔵江及引合○本郷村新二郎孝行御褒美願之義<sup>二</sup>付、河内守殿被仰聞候趣を以、一兵衛<sup>二</sup>談有之、願書相下受取、九つ時帰○役所出勤

例刻帰宅

一、おかよ・おみち浅草江参ル

同廿六日 半晴

一、明六つ時過龍太郎同歩、上野桜一覽六七分の花なり、五つ時過帰宅

一、例刻出勤、同断帰宅

一、吉田定之丞<sup>二</sup>奉札を以、今日被為<sup>平出</sup>召候段、昨日付<sup>三</sup>而為知来ル

一、池田甲斐守<sup>二</sup>文通、旧冬頼有之、知行所教諭もの之義挨拶申越、紙并看到来、及返書、移奉書遣ス

一、金井伊大夫江結状<sup>二</sup>而交看遣ス

同廿七日 雨

一、例刻出勤、同断帰宅

一、今堀<sup>二</sup>文通、同人妻初七日待夜<sup>二</sup>付、菓子一折遣、返書来ル

一、関口謙助来、逢

一、青山<sup>二</sup>切紙、明廿八日五つ半時被為<sup>平出</sup>召候段、為知来ル

一、吉田定之丞昨日御勘定出役被<sup>二</sup>仰付候段、吹聴申置

一、夕刻青津等左衛門相越、前条青山被為<sup>平出</sup>召候段申渡有之義<sup>三</sup>者全

く間違<sup>二</sup>而御用無之義<sup>三</sup>与相心得候様、河内守殿<sup>二</sup>達有之候段申来

承知之旨及挨拶

一、夜四つ半時過、尚又青山<sup>二</sup>使差越、弥被為<sup>平出</sup>召候義之旨申越、

承知之旨及挨拶

同廿八日 晴

一、今晚大熊善太郎<sup>二</sup>奉札、今日被為<sup>平出</sup>召候段、為知来ル

一、朝五つ時過出宅○下御勘定所江出ル<sup>平出</sup>御殿江出ル○武州本郷村

新二郎孝行御賞誉願出取調、直後藤一兵衛江出ス○御役替如左○

小普請奉行三宅市右衛門 ○西丸御留守居中嶋平四郎○佐渡奉行大熊善太郎○西丸御広敷御用人青山録平○御勘定吟味役竹内清太郎○九つ時過帰○役所出勤、例刻帰宅

一、八つ時過齋藤同道、青山江為待受相越候処、刻限早過候ニ付、同道帰宅○八つ半時過、尚相越待受いたし、夕七つ半時過齋藤一同帰宅

一、大熊方奉札、御役替吹聴申来ル

同廿九日 朝晴午後曇

一、朝五つ時過出宅○吉田定之丞御勘定出役被 仰付候歎申置○中嶋平四郎御役替歎申置○竹内清太郎同断○大熊善太郎同断通、悴二逢、四つ半時帰○役所出勤、例刻帰宅

一、青山録平吹聴申置

一、豊田藤之進来、逢

一、青山方連名文通、齋藤方廻し来、及返書、同人連名<sup>二</sup>而青山江之返書取調差遣又

一、吉田定之丞来、逢

一、おきく・おかよ同道、十軒店江参ル

一、岡田利喜次郎方切紙、奉行衆被 仰渡有之候間、明朔日四時御殿江可罷出、出懸知行割懸江可相達旨申来ル

三月朔日 晴

一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所江出、呼出ニ付罷出候段、知行割懸江申達○<sup>平出</sup>御殿江出ル○青山録平元支配所武蔵・相模国高拾

壹万八千石余齋藤嘉兵衛立会<sup>三</sup>分御預所被 仰付候段、伊勢守殿被 仰付候旨土佐守殿申渡有之、差引岡田利喜次郎、右相濟退出、齋藤同道下御勘定所江立寄、知行割懸江出、御高帳受取、受取連印いたし、御高帳者出役ニ為受取、右出役方懸江相返候積申付ル、九つ時過帰○役所出勤○武州寺子村初太郎、相手同州笹久保新田源太郎外五人、小作滞出入及吟味○明日浜<sup>平出</sup> 御成、諸色見分いたし、例刻帰宅

一、八つ時過出宅、亀沢町江参、夫方関江参ル、暮六つ半時過帰宅

同二日 晴

一、浜御庭<sup>平出</sup> 御成、末姫君様御入ニ付、暁七つ半時出役、明六つ半時過 御着船、暮六つ時前還<sup>平出</sup> 御、例之通御庭口 御揚場<sup>二</sup>而兩度<sup>平出</sup> 御目見いたす、小普請方鈴木登蔵・御豊奉行大平伊十郎も罷出ル

御規定

○御供揃六つ時 若年寄 朝但馬守殿 夕安芸守殿

○御目付鶴殿甚左衛門・松本十郎兵衛 右相濟、暮六つ半時過帰宅

一、青山手付共、御普請役元メ進退相成候段申出ル

一、今朝齋藤江及文通



同三日 雨

- 一、朝五つ時過登<sup>(平出)</sup> 城○上巳御礼申上ル、四つ半時過帰宅
- 一、早朝御着上<sup>二</sup>付、御鷹野役所<sup>江</sup>出勤、見分いたす
- 一、昼後箱訴人之義<sup>三</sup>付、役所<sup>江</sup>出ル

同四日 晴

- 一、例刻出勤、同断帰宅
- 一、今堀<sup>江</sup>文通、朦中見廻、菓子遣又、返書来ル

同五日 晴風

- 一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅
- 一、御母様のおかよ・おみち御同伴、墨水<sup>江</sup>花見彼為人、夜<sup>二</sup>入御帰
- 一、安藤正三郎<sup>江</sup>文通、鰻<sup>了</sup>院殿一周待夜<sup>二</sup>付、靈前<sup>江</sup>砂糖一折相備ル、受取来
- 一、立会当分御預所懸、高木茂久左衛門外七人申付ル

同六日 小雨曇

- 一、例刻出勤、同断帰宅
- 一、安藤惣左衛門殿一周忌<sup>三</sup>付、<sup>(平出)</sup> 御母様駒込十方寺<sup>江</sup>御参詣被遊候

同七日 半晴夕雨

- 一、朝大熊善太郎来、御役替吹聴、逢
- 一、例刻出勤○下総国五木新田、畑増永及<sup>(解)</sup>利害○同断帰宅
- 一、関畝四郎来、初<sup>面</sup>逢
- 一、たけ娘ゆふ同道来逢、兩人止宿

同八日 半晴

- 一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所<sup>江</sup>出ル○関畝四郎抱入伺、登二郎<sup>江</sup>出又○<sup>(平出)</sup> 御殿<sup>江</sup>出ル○松戸宿手判老枚山田金藏<sup>了</sup>受取○青山跡御貸付懸齋藤<sup>江</sup>土佐守殿申渡有之○青山跡御用屋敷詰之儀、林部<sup>江</sup>被 仰付候様土佐守殿・河内守殿<sup>江</sup>申立ル○九つ時過帰○役所出勤○評席申渡有之○齋藤<sup>江</sup>立寄、御貸付懸歎申置○例刻帰宅
- 一、関<sup>江</sup>文通、作感<sup>了</sup>豆前書遣、祇園烟草盆<sup>二</sup>贈ル
- 一、小高登一郎<sup>了</sup>切紙到来、達義有之候間、明九日四つ時御取箇方<sup>江</sup>罷出、差出方懸<sup>江</sup>相達候様申来ル

同九日 晴

- 一、朝九つ半時過出宅○下御勘定所<sup>江</sup>出ル○柴田幸助・中山昇三郎上<sup>下</sup>勤願相濟、利喜二郎<sup>了</sup>書面相渡候<sup>三</sup>付、承付いたし、懸<sup>江</sup>相返又○<sup>(平出)</sup> 御殿<sup>江</sup>出ル○一兵衛・鍾之助<sup>江</sup>新同役之儀申談ス○九つ時過帰○役所出勤○幸助・昇三郎<sup>江</sup>上下勤申渡○岩田鍛三郎来

詰所<sup>三</sup>而逢○例刻帰宅

一、関<sup>二</sup>昨日之返書、移到来

同十日 晴

一、朝五つ時過出宅○河嶋才右衛門<sup>江</sup>今般御取箇懸被 仰付候歛申置

○菊沢左兵衛御勘定組頭被 仰付候歛同断○森田岡太郎通、逢

甲州表<sup>江</sup>来ル廿日<sup>三</sup>出立<sup>二</sup>付、暇乞○堀田大隅守<sup>江</sup>通、用人<sup>二</sup>逢、当

月朔日中務少輔殿病死いたし候悔申置、四つ半時過歸ル○役所出

勤、例刻帰宅

一、後藤一兵衛<sup>江</sup>齋藤連名切紙、談之儀有之候間、明日申合、御殿<sup>江</sup>

罷出候様申来

一、岡田利喜<sup>二</sup>郎<sup>一</sup>切紙、齋藤連名手代宛、明十一日小菅納屋土佐守

殿見廻、金座<sup>三</sup>而岩太郎落合同道、千住通被相越候旨、申越<sup>二</sup>

右二口富田類右衛門持参 <sup>平出</sup> 御殿<sup>江</sup>齋藤罷出、小菅之方引渡<sup>二</sup>前

二付、青山元役所<sup>江</sup>相廻候積申聞遣<sup>二</sup>

同十一日 雨

一、早朝後藤一兵衛<sup>江</sup>文通、肩衣地<sup>二</sup>贈ル、返書来ル

一、例刻出勤○今日一兵衛<sup>江</sup>談、大森新田丁打場此節御普請皆出来<sup>二</sup>

付、来ル十四日比土佐守殿・御目付青木新五兵衛立会、出来栄見

分有之候<sup>二</sup>付、品々談有之候旨、齋藤<sup>江</sup>演説有之、青津等左衛門

即刻及演達○例刻帰宅

一、大熊善太郎・竹内清太郎<sup>江</sup>結状<sup>三</sup>而御役替歛、肩衣地<sup>二</sup>ツ、相贈

ル

一、藤井雄左衛門一昨日出羽<sup>江</sup>出府いたし候由、来逢

同十二日 曇

一、例刻出勤○同断帰宅

一、八つ時過出宅○亀沢町<sup>江</sup>参ル○岩田鋏三郎<sup>江</sup>参、来ル十六日美濃

表<sup>江</sup>出立暇乞、姫路草文庫餞別<sup>二</sup>贈ル、逢○今堀千五百蔵<sup>江</sup>藤中

見廻<sup>二</sup>参ル、逢、夕七つ半時過帰宅

一、小泉様<sup>江</sup>御書通、鯛切身志重御贈、御返書、御移蠟石亀一・晝袷

一箱上ル

同十三日 半晴過雨

一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所<sup>江</sup>出ル○ <sup>平出</sup> 御前講釈<sup>二</sup>付、五つ

半時過御退出相済○四つ半時過歸○役所出勤、例刻帰宅

一、市村丈右衛門来逢、近藤知行所産物取寄方問合申聞ル、承知之旨

及挨拶

一、竹内清太郎来、御勘定吟味役被 仰付吹聴申置

同十四日 晴

一、朝五つ時前出宅 <sup>平出</sup> 御殿<sup>江</sup>出ル○大森新田鉄砲町打場、御勘定所

<sup>二</sup>引渡方之義、後藤一兵衛<sup>江</sup>申談、右<sup>三</sup>立会之廉<sup>三</sup>而、場所取計者

立会御代官<sup>二</sup>而相心得、進退<sup>者</sup>郷村引渡迄青山元役所取扱之積相決入、右<sup>二</sup>付山本庄右衛門<sup>二</sup>も品々及引合○今日も<sup>平出</sup> 御前講釈有之、五つ時御上り有之○五つ半時過退出○芝清岸院<sup>江相越</sup><sup>平出</sup>  
 御牌前拜礼<sup>平出</sup> 大量院様 御墓拜礼、四つ半時過帰○役所出勤  
 ○町打場引渡方之儀、青津等左衛門<sup>江及演説</sup>○例刻帰宅  
 一、昨十三日成瀬藤右衛門御広敷番之頭被 仰付候

同十五日 半晴

一、例刻出勤○岡田利喜次郎<sup>者</sup>斎藤連名切紙来、奉行衆被仰渡有之候間、明十六日<sup>平出</sup> 御殿<sup>江可罷出</sup>、尤米価懸<sup>江通達可致旨申越</sup>、斎藤今日在宅出勤無之三付、右切紙<sup>者</sup>斎藤<sup>江茂久左衛門を以相廻し</sup>、明日自分<sup>者</sup>罷出候間、不罷出候ハ、其段可申越事岡地建八<sup>江申遣置</sup>○同断帰宅

一、青山<sup>江相越逢</sup>、転役歎栗茶碗一・三つ葉蓋置一・紫服紗一相贈ル  
 一、久須美佐渡守<sup>者</sup>奉札、権兵衛義今日初<sup>而</sup><sup>平出</sup> 御目見被 仰付候吹聴申来ル  
 一、月並御礼無之、不時御礼有之

一、斎藤<sup>者</sup>田中第五郎を以、明日名代兼候様頼来、承知之旨及挨拶

同十六日 曇風

一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所<sup>江出ル</sup>、米価掛愛知昇七郎<sup>江罷出</sup><sup>升</sup>候段申達ス○<sup>平出</sup> 御殿<sup>江出ル</sup>○小菅御威懸<sup>者</sup>斎藤嘉兵衛立会被仰付

候段、土佐守殿被仰渡、差引岡田利喜次郎○大森新田町打場引渡御届振取調後藤一兵衛引合、下書を以相決ス○荒井清兵衛手付黒田節兵衛、明十七日<sup>平出</sup> 御城<sup>江可差出旨土佐守殿被仰渡</sup>、清兵衛名代いたす○九つ時過帰○役所出勤○町打場引渡御届振之義斎藤<sup>江及演説</sup>、下書一通立会懸元<sup>江相渡ス</sup>○斎藤<sup>者</sup>被相頼候同人貸地願書、一兵衛差出候段<sup>江相達ス</sup>○例刻遅<sup>又</sup>帰宅

一、青山明手付出役平林廉助外三人、明日麻上下着用、下御勘定所<sup>江召連可罷出旨斎藤連名切紙</sup>、小高登一郎<sup>者</sup>到来、其段当人共<sup>江為申達候</sup>

一、奉行衆被仰渡有之候間、明十七日<sup>平出</sup> 御殿<sup>江可罷出</sup>、出懸御取箇方<sup>江通達可致旨</sup>、小高登一郎<sup>者</sup>切紙到来、右二口斎藤名代兼罷出候様、新五郎を以頼遣ス、承知之旨同人申聞ル

同十七日 曇時々少雨

一、例刻出勤○評席申渡口々有之○自分名代兼斎藤下御勘定所<sup>江罷出候処</sup>、平林廉助外<sup>者</sup>斎藤手付出役、仲谷十郎左衛門外<sup>者</sup>人自分手付出役替、小高登二郎<sup>者</sup>当人共<sup>江申渡有之</sup><sup>平出</sup> 御殿<sup>二</sup>而者定例手当向之儀土佐守殿被仰渡有之由○後藤一兵衛<sup>者</sup>切紙明後十九日大森新田大筒町打場、土佐守殿出来栄見分有之三付、斎藤・自分之内右場所可罷出、一兵衛御勘定方<sup>者</sup>明日日出立いたし候旨、右切紙斎藤持帰一覽之上、立会役所<sup>江相渡ス</sup>○青津等左衛門<sup>江右見分三付</sup>、出役等之儀申談ス○例刻帰宅

一、山本庄右衛門右吉封、青山出役便三而差越又

同十八日 曇

一、例刻出勤○評席申渡有之○青津等左衛門江心得方申聞ル○同断帰宅

一、吹上御庭方田安殿家形江御立寄有之、斎藤出役

一、市村丈右衛門来、逢、奥山方縁談之儀申聞ル

同十九日 曇少雨

一、暁七つ半時出宅、品川宿迄駕籠、夫左步行、朝五つ時過大森新田地先町打場着、後藤一兵衛・山本庄右衛門・清水安太郎并御普請懸直江藏之助・田口小市郎其外御普請役・吟味方下役・御徒目付・御小人目付・御鉄砲方相越居、何も小屋場三而面会、夫右町打場

江一同相越、朝五つ半時比土佐守殿并御目付青木新五兵衛一同相越、見分所二おゐて一同奉行衆逢相濟、町打場惣躰出来栄御見分有之、相濟弁当○場所懸直江藏之助右町打場出来栄為見分相濟候二付、建物其外仕様帳一冊・堤其外箇所付帳一冊相渡、右場所仮引渡いたし候段斎藤連名之口達書相達候二付、受取直三青山元手代石塚廉藏江右帳面式冊者相渡、同人町打場江詰切之積申談、

口達書者持帰ル○今朝小屋場二おゐて青山元手代秋葉金二郎右書取を以、町打場差向取計之廉差図受度よし申聞候二付、自分共右差図いたし候訳二者無之候間、右書取を以、直三山本庄右衛門三申

聞候処、一兵衛談判之上及挨拶候二付、其段金二郎江直三相達書取者相返又

○場所受取候上者番人取計方之義

是者青山元手代吉人、町打場内江詰切之積

○町打場内変死人其外取計方之儀

是者外元支配所一躰之取計之積

○御普請所・破損所等有之候節取計之儀

是者破損等有之候ハ、其段早々御勘定所二相届候積

右之通、庄右衛門申聞候二付、直三其段金二郎江相達又

○大森村地内玉葉藏御取立可相成場所、土佐守殿見立有之二付

一兵衛・御勘定方一同相越、御目付者途中右直三退散、土佐守殿右場所見分有之、相濟直三退散、一兵衛・御目付左夫々退散、自分者場所懸一同小屋場江立戻、夫右町打場江立寄、石塚廉藏詰居候二付、尚取締方心付、九つ時比場所退散、○品川宿二而人足四

人相雇候処、立会被 仰付候上者、支配所内之儀賃錢不受取心得之旨、問屋役人申立候由二付、右者不相当之旨改役所詰籠宮幸助江も及沙汰、賃錢相払、受取書為取候○八つ半時比帰宅

同廿日 曇

一、朝五つ半時過出宅

御殿江出ル○昨十九日出来栄見分相濟、町打場之義、斎藤・自分立会御預江相成候段、伊勢守殿被仰渡候旨、土佐守殿申渡、差引一兵衛、斎藤名代相兼ル○斎藤・江川・望月

明廿一日四時被為<sup>（金出）</sup> 召候<sup>二</sup>付、自分名代相勤、土佐守殿申渡、

差引一兵衛御受取調、菅沼半之助<sup>江出</sup>又○九つ時過歸○役所出勤

○齋藤<sup>江</sup>御用 召之義申達、江川・望月元<sup>又</sup>共同断之義為申達候

○評席申渡有之○例刻帰宅

一、望月元<sup>又</sup>山口順藏受<sup>二</sup>来、明日名代之義相頼、承知之旨申遣又

一、夕刻望月元<sup>又</sup>共<sup>江</sup>尚太郎差遣、名代断申遣又

一、戸田<sup>江</sup>齋助差遣、望月御用 召之義云々申遣又

一、後藤一兵衛<sup>江</sup>切紙、明廿一日御老中方正四時登城之旨、堀伊豆守<sup>（金出）</sup>の達有之候間、明日御用 召<sup>（金出）</sup>之同役共<sup>江</sup>通達いたし候様申来ル

一、右之趣、齋藤<sup>江</sup>同書申遣、返書来

一、望月・江川<sup>江</sup>右同断、役所<sup>江</sup>為申遣候

一、黒田節兵衛西丸御徒目付被 仰付候吹聴申置

一、夜<sup>二</sup>入、山口順藏相越、明日望月名代戸田嘉十郎罷出候段申聞ル、

承知之旨及挨拶

同廿一日 半晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、齋藤十方石高地廻支配、江川老万石増地、望月老万石増地・場所

替被 仰付候

一、青山<sup>江</sup>の結状<sup>二</sup>而看到来

一、八つ半時過<sup>江</sup>青山同道、齋藤<sup>江</sup>歎<sup>二</sup>参、勝田・戸田参り合、一同

酒飯被振廻、七つ半時過歸宅

同廿二日 曇

一、朝林部善太左衛門来、逢

一、例刻出勤○柑本兵五郎<sup>江</sup>文通、及返書○同断帰宅

一、小高登一郎<sup>江</sup>切紙、明廿三日四時御取箇方<sup>江</sup>出勤いたし候様申来ル

一、駒場 御成、新部屋申合有之、齋藤出ル

一、御鳥見加勢三拾八人、御鳥見方<sup>江</sup>申来候<sup>二</sup>付、去々戌年駒場取人振合を以、最寄同役<sup>江</sup>申遣又

一、小菅御藏諸書物・正金立会<sup>江</sup>受取

一、武州大森村外式ヶ村地内大筒町打場今廿二日受取候<sup>二</sup>付、立会役所<sup>江</sup>原俊藏先立場所<sup>并</sup>諸書物受取

同廿三日 曇昼後雨

一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所<sup>江</sup>出ル○八州廻手代関畝四郎抱入伺相濟、小高登一郎<sup>江</sup>相達候間、承付いたし、鈴木甚内<sup>江</sup>相返又

○評定所<sup>江</sup>出ル○松井助左衛門<sup>江</sup>八州取締懸<sup>江</sup>齋藤<sup>江</sup>被仰渡候様申聞置、三岡雄太郎身分之儀内談有之○浅野弥一郎<sup>江</sup>逢、五木新田

一件及内談○四つ半時過歸○役所出勤○御場拵御用相勤候もの野羽織 御免申渡○例刻帰宅

同廿四日 曇

一、朝出懸 御成諸色見分いたす○例刻出勤、同断帰宅

同廿七日 曇

一、明廿五日駒場野追鳥狩<sup>(平出)</sup> 御成ニ付、八時半時過出立、本丁通

一、朝五つ時過出宅○成瀬藤右衛門・木村敬蔵<sup>江</sup>御役替歎申置○久須

西丸下赤坂御門通罷越、青山若松町市中小休、夕七時半時過、下

美六郎左衛門通、逢、○四半時帰○役所出勤、例刻帰宅

北沢村森巖寺<sup>江</sup>着いたす、住持出、逢、夜四半時過焚出所見廻相越

一、八つ時過齋藤同伴、青山<sup>江</sup>参、勝田も来、一同談話○茂久左衛

今日者同村権左衛門宅<sup>三</sup>成、九つ時泊<sup>江</sup>帰ル

門来、逢○暮六時半時帰宅

同廿五日 今暁<sup>江</sup>雨

同廿八日 雨

一、明六時半時森巖寺立出、駒場<sup>江</sup>相廻ル、五ツ半時過天氣相<sup>三</sup>付<sup>(平出)</sup>

一、例刻出勤、同断帰宅

御成御延引被 仰出候<sup>三</sup>旨承、御場引私、御用屋敷前下宿<sup>三</sup>而休息

一、武州大森新田町打場<sup>并</sup>小菅納屋取扱、齋藤方一手持之積、今日奉

御鷹野方<sup>江</sup>取締向申達、四つ時過同所引私、昼九つ時過帰宅

行衆被仰渡有之候<sup>三</sup>旨齋藤申聞、其段役所懸<sup>江</sup>相達又

一、奉行衆被仰渡有之候間、今廿五日<sup>(平出)</sup> 御殿<sup>江</sup>罷出候様、出懸知行

一、おきく今一夜止宿、明日迎遣候旨、申遣又

割<sup>江</sup>通達可致旨昨廿四日小高登一郎<sup>江</sup>切紙到来<sup>三</sup>付、齋藤<sup>江</sup>名代

一、茂久左衛門<sup>江</sup>金子相渡又

相頼<sup>三</sup>、同人名代兼罷出候処、自分義下総国齋藤支配所場所替被

同廿九日 昨夜<sup>江</sup>雨朝収曇

仰付候段伊勢守殿被仰渡候旨土佐守殿被仰渡、御高帳相渡ル、

一、早朝後藤一兵衛<sup>江</sup>文通、返書来

齋藤者青山元支配所支配、望月新八郎<sup>者</sup>自分支配所内支配被 仰

一、例刻出勤、同断帰宅

付、其余場所替・最寄替被 仰付、別記有之<sup>三</sup>付、略記又

一、昼後おみち、おるち部屋<sup>江</sup>上ル、逗留<sup>三</sup>之積

同廿六日 雨

一、昼八時半時過おきく、おるち部屋<sup>江</sup>下ル

一、例刻出勤、同断帰宅

一、木村敬蔵来、申置

一、おきく、おるち部屋<sup>江</sup>上ル、九つ半時過出宅、ふさ・さく召連

同晦日 晴

止宿之積

一、例刻出勤○評席申渡有之○後藤一兵衛<sup>江</sup>切紙、出役持帰、今日御

作事下奉行松永善之助御代官被 仰付候三付、同人伝達自分江被

仰渡、名代御勘定浦野惣九郎相勤候段申来ル○支配所孝行もの之

義二付、明日（平出） 御殿江可罷出旨組頭相達候旨、惣九郎出役二

申間候由○例刻帰宅

一、松永善之助来、初（平）逢

一、同人方江高木茂久左衛門・山口瀬左衛門差遣又

一、おるち方江金子、おきくち文（平）而為持遣又

四月朔日 晴

一、朝五つ時前出宅○下御勘定所江出ル○松永善之助召連、諸懸々江

引合、向々及演説（平出） 御殿江出ル○月並御礼三申上ル○小高登

一郎（武州）下総国鎌ヶ谷村亭助吟味筋取計之儀二付、談有之○下総圍

本郷村新次郎孝行二付、御褒美銀拾三枚被下、実母りさ江老養扶

持一生之内一日米五合ツ、被下旨、伊勢守殿被仰 渡候段河内守

殿申渡、差引鍾之助、右銀同人を受取、出役江渡又○山松井泉三

郎身分之儀、播磨守殿頼之由、善次郎并鍾之助内談有之○四つ

半時過帰○今朝鈴木源内方明日元々老人可差出旨申間候二付、其

段其右衛門江相達○中山誠一郎役所江来逢○例刻帰宅

一、昼九つ時過深川伊予橋辺出火二付、帰宅之上、本所牢屋敷江見廻

相越、直二帰宅  
一、手明手付・手代共来

同日 半晴

一、朝五つ時過出宅○石河土佐守殿江武州本郷村新次郎孝行御褒美御

礼申置○松平河内守殿同断申置○下御勘定所江出ル○小高登一郎

江下総国鎌ヶ谷村亭助吟味之始末書取一通差出申談○田中庄一郎

武州小湊村反高場定取之儀、伺書談有之○松永善之助同道、（平）

御殿江出ル○善之助差出物如左

○杖願書○誓詞願書○印鑑○御証文願書

右高橋鍾之助江出候積、松野熊之助江相渡

○明細短冊四枚

右分限帳懸井戸九年之助江出候処、尚善之助江相渡候由、下書一

枚并御用懸・三代御咎之両廉認候分短冊、今一枚差出候様申聞

ル 右相濟、退出○伊勢守殿江前条孝行もの御褒美之御礼申置○評定

所江善之助同道、留役其外江引合○池田播磨守去月晦日、町奉行

被 仰付候歎申置○九つ時過帰○役所出勤○評席申渡有之○例

刻帰宅

一、勝田方文通、及返書

一、宮部潤八郎来、逢

一、松永江孫八郎差遣又

一、駒場逐鳥狩（平出） 御成有之、斎藤出役

同三日 曇夕雨

- 一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所江出ル○(平出) 御殿江出ル○松永善之助江人割之儀申談、同人江申込之分名前書受取○九つ時過帰○役所出勤○武州高虫村寺院伐木出入及吟味○下総国尾崎村熊威、播磨守殿勤役中御駕訴いたし候に付、村役人江引渡遣、其外申渡有之○松永頼、場□所之もの條助・金七郎取極、其右衛門江為持遣入○八つ時過帰宅
- 一、今朝大坪万大夫来、逢
- 一、留守江柴田善之丞来、手付・手代之儀ニ付、茂久左衛門江申置、名前書差越ス
- 一、勝田江川上手付山本郡七を以文通、同人江返書渡ス
- 同四日 時々雲立晴
- 一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所江出ル○松永善之助御高帳渡之儀及演舌、誓詞前書案渡ス、直ニ退出○今堀千五百藏江先般新御番被 仰付候歎差越、逢○和田勝兵衛江組頭被 仰付候歎申置○役所出勤、例刻帰宅
- 一、松永善之助、出羽国白石吉郎跡支配被 仰渡有之
- 一、朝小泉様御出、御目ニ懸ル
- 一、茂久左衛門呼寄、人割之義申談
- 同五日 晴
- 一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所江出ル○今日一々内割ニ成ル○(平出)
- 御殿江出ル○松永誓詞前書表御右筆所突合相済候由ニ而、小嶋磯之丞を受取○池田播州江松井泉三郎身分之儀内談有之○齋藤八州廻懸申渡有之、四つ半時過帰○役所出勤○(武蔵)下総国船渡村夫錢出入及吟味○武州代山村地所出入場所見分申渡○例刻帰宅
- 一、朝松永善之助江文通、呼ニ遣、返書来、昼後入来、逢、人割其外及談判、交看到来
- 一、御老若方・御側衆船橋筋乗切有之、例之通御鷹野方出役いたす
- 一、金井伊大夫来、逢
- 一、小泉様江呈書、御留守のよし
- 一、岸本金八郎江奉札、敬信院様、来ル八日一周忌御相当之処、東漸寺差合有之、七日ニ取越、同寺ニ而法事有之候旨申来、饅頭一重到来
- 一、松井明珍主水来、逢
- 同六日 半晴
- 一、例刻出勤○青山面会○武州辻村勘八郎、相手初右衛門貸金出入口書申付ル○武州飯塚村幸左衛門、相手喜三郎難渋出入、及吟味○武州横根村弥五右衛門、今般伊勢守殿江駕籠訴いたし、訴状一同内覧、心得方申渡ス○同断帰宅
- 一、ひて呼寄、おたの身分之儀、おきく申談
- 一、おみち、おるち部屋江昼後下ル



同七日 半晴

- 一、例刻出勤○武州本郷村新次郎、母<sup>江</sup>孝行いたす<sup>二</sup>付、御褒美銀三枚被下、実母りさ<sup>二</sup>生之内一日米五合ツ、被下候段伊勢守殿御下知之趣、申渡○同断帰宅

- 一、西丸新部屋有之、齋藤出ル、明後九日<sup>平出</sup> 右大将様中里筋 御成被 仰出有之

- 一、朝茂久左衛門来、逢、金子持参、受取

- 一、後藤一兵衛<sup>江</sup>文通、菓子一折・湊焼皿十枚贈ル、留守受取来ル

- 一、敬信院様明八日一周忌御相当、今朝五つ時御法事に付、浅草東漸

寺江為代香、源太夫遣又

- 一、右同断二付、岸本<sup>江</sup>奉札<sup>三</sup>而葛一箱御霊前<sup>江</sup>相備ル

同八日 雨

- 一、例刻出勤○明日 御成諸色見分いたす○同断帰宅

- 一、明九日五つ時前、御供揃<sup>三</sup>而<sup>平出</sup> 右大将様、中里筋 御成被 仰出有之

- 一、青山入来、逢

同九日 曇夕雨夜大風雨

- 一、中里筋<sup>平出</sup> 右大将様 御成<sup>二</sup>付、明六つ半時出宅、五つ時過中里村御用屋敷着、茶所見廻、西ヶ原村茶屋安右衛門宅下宿<sup>二</sup>付、差越休足、夫方御用屋敷内小普請方詰所<sup>江</sup>参、黒川嘉兵衛・大平

伊十郎罷在面会、朝四つ半時少々過御用屋敷<sup>平出</sup> 御入込、昼九つ

半時過還<sup>平出</sup> 御、兩度例之通<sup>平出</sup> 御目見いたす

御規定

○御供揃五つ時前 ○若年寄右京亮殿

○御目付浅野一学・山岡八郎左衛門

右相済、八つ半時過帰宅

- 一、ひて来、逢、今日おるち部屋方下候よし

同十日 晴

- 一、例刻出勤○下総国船渡村欠込訴いたし候始末、及吟味○同断帰宅

- 一、松永善之助来、逢

- 一、大坪万大夫来

- 一、関<sup>江</sup>文通、王子新茶相贈ル

同十一日 晴

- 一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所<sup>江</sup>出ル○武州飯田村本村新田堤裁許場之儀<sup>二</sup>付、伺書<sup>并</sup>絵図面とも月番岡田利喜二郎<sup>江</sup>差出、及談判○安西惣助<sup>江</sup>御勘定伺書之儀<sup>二</sup>口催促いたす○<sup>平出</sup> 御殿<sup>江</sup>出ル
- 福田八郎右衛門手付養子願書鍾之助<sup>江</sup>引合、八郎右衛門下願書差出、一件書物相下出役<sup>江</sup>渡又○九つ時過帰○役所出勤○評席申渡もの有之○例刻帰宅

- 一、松永善之助、今日誓詞相済

一、同人江文通、返書来

一、関方昨日之返書来ル

一、柴田善之丞并善一郎方文通、及返書

同十二日 晴

一、朝松永善之助来、役所人割談判取極、其右衛門江相達、明日四時呼出、可遣旨申付ル

一、例刻出勤○青山出逢、明後日御役宅引弘候旨申聞ル○同断帰宅

一、勝田江文通、返書来

一、八つ時比出宅○大熊善太郎江罷越近々佐州江出立三付、為餞別姫路革文庫老ツ・奉書五帖贈ル、留守三付、申置○柴田善之丞江相越、過日参り候挨拶、且元手付・手代身分之義申聞ル、夕七つ時過帰宅

同十三日 晴

一、朝松永善之助来、同人手付・手代三可致もの共、今日四つ時呼出、為申達、一同御役宅江罷越、名前如左

- 池田手付元締 青山同断
- 大坪万大夫 森田林助 同断
- 青山加削手付 青山手代 山崎貫之助
- 平林廉助 柴田手付 柴田手代
- 星野幸平 寺西手代 近藤与五六
- 百瀬章蔵 青山手代 内藤手代
- 中林定吉 松井泉三郎
- 青津新三郎
- 柴田手付 柴田書役
- 三科鎮太郎 村田公吉

右善之助一同出席、同人方江取極懸合状渡候様申達、銘々懸合状

渡遣○善之助江勤方演説書老冊相達、四つ半時比相済

一、四つ半時過役所出勤○評席申渡、吟味もの有之、青山役所申渡有之○例刻退散○青山江立寄、同人娘三逢、帰宅

一、今堀方文通、同人亡妻法事、重之内到来

一、森田林助妻来、逢

同十四日 雨

一、例刻出勤、同断帰宅

一、高橋平作江文通、返書来

一、鯨井太一郎来、逢

同十五日 晴

一、朝六つ半時過出宅○下御勘定所江出ル○松永善之助手付・手代内伺書岡田利喜二郎江出ス○同人方談、武州飯田村堤取弘人用被下方伺書難相整段談有之、書類相下受取○御鷹野方頭取増人願書、五味与三郎江出ス○御殿江出ル○月並御礼申上ル○岡田完一郎湯治願之義三付、竹尾正助方談有之、願書受取○善之助同道、下御勘定所江立寄、高橋平作方今朝差出見込書者相返受取、内伺書者可相済趣三付、善之助相残、自分者先江退散○四つ半時過帰○役所出勤○評席申渡有之○松永善之助来、森田林助外拾人内伺書相済、利喜二郎相達候由、申聞ル○例刻帰宅

一、森田林助・山崎貫之助・平林廉助来、逢

一、久須美六郎左衛門ハ奉札、明十六日五時半時被為（平出）召候段、為知来ル

同十六日 晴

一、例刻出勤○武州代山村ハふさ、相手光岳難涉出入口書、下総国金杉村、同出入及吟味其外申渡有之○同断帰宅

一、大坪万大夫来、逢

一、久須美六郎左衛門ハ奉札、御先手水野甲子次郎跡被 仰付、火付盜賊改被 仰付候段、為知来

同十七日 晴

一、役所休日

一、朝五つ時出宅、斎藤同道、増上寺（平出） 御宮拝礼并黒本尊参詣、四つ時過帰宅

同十八日 晴雲立

一、朝五つ半時出宅○久須美六郎左衛門御役替歎相越、逢、伊藤専蔵取人之儀申込○松永善之助同断留守、為歎桑刀懸相贈ル、申置○

役所出勤○評席申渡有之○例刻帰宅  
一、明十九日新部屋申合有之候段、御勘定所ハ達有之

同十九日 晴

一、朝五つ時過出宅○下御勘定所江出ル○御鷹野方見習願書五味与三郎江出ス○（平出） 御殿江出ル○御退出後新部屋申合有之、両丸兩度相濟、近々浅草筋（平出） 御同道 御成被 仰出有之、例之通申合相濟○不時御礼有之○九つ時帰○役所出勤、例刻帰宅

同廿日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、神尾理三郎来、逢

一、松永善之助来、逢

一、久須美権兵衛、龍太郎方江来、逢

同廿一日 晴風

一、早朝杉浦正一郎来、逢

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、今六つ半時前御供揃二而浅草筋（平出） 御同道 御成有之、斎藤出役

一、高橋鍾之助方切紙、岡田完一郎湯治願之儀、道中日数相除七日、願之通松伊賀守殿被仰渡候段、河内守殿被 仰聞候旨申来、即刻

其右衛門二達、右返書明日差出候積、申付ル

同廿二日 小雨 入梅

一、朝五つ半時過出宅○設楽八三郎去亥年御年貢凡積皆済御届如左出

又

伊勢守殿 渡辺壯大夫

主膳正殿 青木矢柄

右相仕廻、下御勘定所江出ル○松永善之助手付・手代内伺書、大坪方大夫外式人分高橋平作江出入、明日相濟、直二本伺差出候積、善之助差出候旨申談、同人江も申達置○<sup>平出</sup> 御殿江出ル○善之助

江手代交替之旨、<sup>御也</sup>所書取相渡○手付・手代手当・給扶持凡明細渡

又○手付・手代誓詞前書案渡○九つ時過歸○役所出勤○評席申渡

有之○下総国船渡村役人一件、及利害○例刻歸宅

一、松坂屋なを来、逢

一、関捨四郎江文通、留守受取来

同廿三日 雨昼後半晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○青山録平元支配所斎藤立会御預所江郷

村諸書物受取、立会役所江出勤致入○同断歸宅

一、朝関捨四郎来、逢

同廿四日 晴

一、朝松永善之助来、逢

一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所江出ル○武州飯田村堤裁許跡相続

方伺書・絵図面とも岡田利喜二郎江再度差出、及談判、一応取調

之上、可申聞旨申候二付、右伺書者同人手江差出置○評定所江相廻、

松井助左衛門江逢、前条裁許跡之儀、及談判○九つ時歸○役所出

勤○明日浜<sup>平出</sup> 御成被 仰出候二付、諸色見分いたす○例刻歸宅

一、関捨四郎江文通、縁談之儀申遣入

○一、五味与三郎切紙、斎藤連名<sup>三</sup>而奉行衆御内達之儀有之候間、

明日<sup>平出</sup> 御殿江罷出候様申来、斎藤<sup>六</sup>申来、一覽返入 ○印者廿

五日江可入分

同廿五日 晴

一、浜<sup>平出</sup> 御成二付、暁七時半時出宅、六つ時過浜茶所江相越、朝五つ

時比<sup>平出</sup> 御入込、夕七つ時前還<sup>平出</sup> 御、例之通兩度<sup>平出</sup> 御目見

いたす○御規定○御供揃六つ半時前○御成之節御船、還 御之節

陸○若年寄越中守殿・主膳正殿、別段玄蕃頭殿○御目付鵜殿甚左

衛門・青木新五兵衛右相濟、夕七つ半時過歸宅

同廿六日 晴

一、例刻出勤○下総国岩名村女死人検使願いたし候一件吟味、年寄善

右衛門宿預、同人悴清八入牢申付ル○今日斎藤<sup>平出</sup> 御殿江出、江

川支配所野廻一件、河内守殿内達有之候由○八つ半時比歸宅

一、朝小林源作来、逢

一、同井上権十郎来、逢

一、明珍主水来、胴丸皆出来いたし、持参請取

同廿七日 晴夕曇

一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所江出ル○五味与三郎江江川野廻役取計之儀、及引合、同人伺書老通信受来○小林源作御用懸申上ル、書面与三郎江出又○御取箇方元々呼出有之、新五郎出役宮田勘太郎江飯田村一件書物相下候由、新五郎申聞ル○平出御殿江出ル○小林源作前条書付後藤錠太郎江出又○九つ時帰○役所出勤、例刻帰宅

一、青山録平方朝幸便文通、尚又昼後文通有之、八丈二反到来、及返書、移赤松茶碗一遣又、今朝文通之節者、坪内舍人方之書付老通

差越、同人知行所之義、八州廻取締相頼来候書面也

一、岡田利喜二郎切紙到来、斎藤連名手付召連、明日出勤之儀、申上ル

同廿八日 曇時々雨

一、朝五つ時前出宅○下御勘定所江出ル、手付平林廉助召連出ル、同人義松永善之助手付被 仰付候段岡田利喜二郎申渡、身分善之助

江引渡、大坪万太夫其外善之助手付身分一同相濟○二条御蔵江差立相成候御用物御証文五味与三郎方相渡、斎藤一同受取○平出

御殿江出ル○設薬手付貸地願濟、鍾之助方達有之○月並御礼申上ル○丹後守殿方福田八郎右衛門江之印状御渡有之、直達可致旨談

有之、受取○池田播磨守跡御勘定奉行本多加賀守殿被 仰付候○弁当相仕廻、四つ半時比退出○本多加賀守殿江御役成歎申置、斎

藤・勝田・林部同伴、佐々木道太郎留守江立寄休足○九つ時過帰

○役所出勤、八つ時過帰宅

一、福田八郎右衛門江丹後守殿封状江書状相添、封候而手代石橋為作呼出相渡又

一、松永善之助手付共一同、礼二来ル

一、明珍主水来、逢

同廿九日 曇小雨 八つ時過地震

一、例刻出勤、同断帰宅

一、久須美六郎左衛門江歎、結状鯉節一箱遣又

同晦日 小雨 夕収

一、例刻出勤○立会評席申渡有之○同断帰宅

一、鯨井太一郎・松井泉三郎、松永抱入礼二来

一、松永善之助江及文通

五月朔日 曇小雨

一、朝五つ時過出宅平出 御殿江出ル○月並御礼申上ル○岡田完一郎湯

治再願書、鍾之助江出又○四つ半時比帰○役所出勤、例刻帰宅

一、松永善之助来、逢、御役成已来世話相成候由を以、時候見廻縮細

一反・鯉節老箱相贈ル

同二日 半晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、朝関方文通、及返書

一、九つ半時出宅○亀沢町江参、夫方関江相越、夜五つ時過帰宅

同三日 曇昼後雨

一、朝大坪万太夫・仲谷十郎左衛門来、逢

一、例刻出勤○立会評席有之○同断帰宅

同四日 小雨

一、例刻出勤、同断帰宅

一、平林廉助来

同五日 曇小雨

一、朝五つ時登<sup>平出</sup>城○冊端午御礼申上ル○四つ半時帰宅

一、手付・手代其外端午之礼<sup>二</sup>来

同六日 半晴夕雨

一、例刻出勤、同断帰宅

一、朝青津等左衛門来、逢

同七日 曇

一、例刻出勤○紅林勘解由方仲谷十郎左衛門身分之儀懸合来、及返書

○内藤外記知行武州小林村清次郎、堀金之丞<sup>助</sup>知行鹿室村吉右衛門身分外、野廻役取締申渡○下総国岩名村清八不屈之取計いたし候一件口書申付ル○例刻帰宅

一、今堀千五百蔵江結状、御番替歎着遣入、返書差越入

一、三岡雄太郎、鯉節一箱持参、相贈ル

同八日 半晴

一、朝仲谷十郎左衛門来、逢

一、例刻出勤、同断帰宅

一、福田八郎右衛門手代久保平四郎来、八郎右衛門方之印封状持参、逢  
受取候段申聞遣、右者一色丹後守殿江之印封状入有之

同九日 晴

一、朝五つ半時過出宅○福田八郎右衛門去々戌年皆済并去亥年期月後御届出、如左

○伊勢守殿用人渡辺惣大夫を以出又○先般勝手通之儀申談置候  
処、御聞濟相成居候段、惣大夫申聞候二付、立帰御礼申置

○主膳正殿用人青木矢柄を以出又○勝手通之儀申込置

右相仕廻○下御勘定所江出ル○<sup>平出</sup>御殿江出ル○仲谷十郎左衛門

御普請役願書、高橋鍾之助江出又○土佐守殿江十郎左衛門身分之儀申立置○九つ時帰○役所出勤○立合評席申渡有之○例刻帰宅

同十日 曇

一、朝五つ時過出宅○本多加賀守殿江登 平出 城前相越、逢有之○下御

勘定所江出ル○武州篠津村助郷免除願之儀二付申上書、菊沢左兵

衛江出出入ス○利喜二郎方市岡新田之儀二付内談有之、平出 御殿江出

ル○丹後守殿江福田八郎右衛門印封状差出ス○九つ時比歸○役所

出勤、例刻帰宅

一、福田八郎右衛門江書状宅封、茂久左衛門江渡ス

一、仲谷十郎左衛門来、逢

一、夜九つ時過、焚出所見廻いたす

同十一日 小雨

一、例刻出勤○立会評席申渡有之○同断帰宅

一、田辺平三郎来、龍太郎書入門相頼、逢

一、浜町清水殿屋敷 平出 御成有之、出役斎藤

一、浅井宗寿来、逢

一、関方文通、菓子到来、返書移遣、松村禄一為見二遣又

同十二日 雨雷気

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

同十三日 半晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、松平加賀守使者来、八講布拾五疋到来

一、小泉様方御文通木瓜到来、御返書御移出ル

同十四日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、久須美江文纏遣、龍太郎方権兵衛江文通

同十五日 晴

一、朝五つ時過登 平出 城○月並御礼申上ル○仲谷十郎左衛門身分願

書下、鏈之助江談、受取○粕壁宿八郎御嘗譽願、同人方下受取○

四半時過歸

一、○役所出勤、例刻帰宅

一、青山録平元御役宅、同人方立会二受取、直二望月新八郎江相渡又

同十六日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、高木彦五郎役所見習申渡

同十七日 半晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、朝小泉久太郎来、逢

同十八日 曇

- 一、例刻出勤○立会当分御預所、郷村諸書物斎藤江引渡○同断帰宅
- 一、八つ時過出宅、関江相越逢、夜五つ時過帰宅

同十九日 晴

- 一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅
- 一、田村備後守江源太夫遣又
- 一、七つ時過る豊田江相越、逢、夜五つ時過帰宅
- 一、高橋鍾之助の切紙、明日呼出来

同廿日 半晴

- 一、朝五つ時少し過登(平出) 城○高橋鍾之助の竹田伊豆守・土佐守殿江鎌ヶ谷村牧土役儀取放之義口達有之、其段自分江可相達旨、御同人被仰聞候由申聞ルニ付、及談判○今朝上野(平出) 御成有之○四つ時過帰宅
- 一、四つ半時過役所出勤○評席申渡有之○例刻帰宅

同廿一日 晴

- 一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所江出ル○下総樋籠村又兵衛御賞誉願、河嶋才右衛門江出又○小笠原太左衛門江河尻方之義ニ付、及内談○(平出) 御殿江出ル○土佐守殿江鎌ヶ谷村牧土高助義に付、御

談いたす、仲谷十郎左衛門義ニ付、御内談有之○九つ時比帰○役所出勤、例刻帰宅

同廿二日 晴

- 一、今晝七つ時西丸火炎上、明六つ半時比鎮火、右ニ付斎藤申合同伴明六つ時過登(平出) 城いたし、着到姓名申達、御目付方ニ而姓名相記ス○右ニ付、包御賦千人前西丸大手勝手江即刻相廻候様、御目付鶴殿甚左衛門申聞候旨、御徒目付丸茂新太郎申聞、承知之旨相答、直ニ御鷹野方江申達、手賦申付ル○御鷹野方詰番相残、一兵衛鍾之助江相断、朝五つ時前帰○役所出勤、御賦同等之儀申付、五つ時過帰宅

同廿三日 晴

- 一、例刻出勤○評席申渡有之○焚出所見廻、追々御断相廻、今日包御賦都合六千人前追々ニ西丸追手御番所勝手江相廻ス○同断帰宅
- 一、奉行衆刻付廻状来、今日火事ニ付(平出) 公方様 右大将様為伺御機嫌伺、明廿三日(平出) 御本丸江惣出仕有之候間、四つ時登(平出) 城可有之候
- 右之趣、可被相触候 五月廿二日
- 一、朝五つ半時前登(平出) 城○昨日西丸炎上ニ付(平出) 公方様 右大将様御機嫌伺惣出仕、於帝鑑之間御老中方謁有之○九つ時過帰○役所出勤、八つ時過帰宅



一、齋藤を可受取諸書物、今日仮引渡之積受取

同廿四日 晴

一、朝五つ時前出宅、亀沢町江相越、源大夫召連ル、五つ半時過歸宅

一、例刻出勤、同断歸宅

一、齋藤嘉兵衛元支配所、武藏・下総国村々郷村諸書物、今日受取

一、福田八郎右衛門を書状、一色丹後守江印封状差越、受取

同廿五日 晴

一、例刻出勤、同断歸宅

一、自分元御代官所・当分御預所武藏・下総国村々、望月新八郎・江

川太郎左衛門・小林藤之助支配所江郷村諸書物、今日引渡相済

男 淳 沢 西

同廿六日 晴

一、朝小林源作来、逢

一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所江出ル○小笠原太左衛門を内談有

之○<sup>平出</sup> 御殿江出ル○福田八郎右衛門を丹後守殿江之印封状、御

同人江上ル○一兵衛を手付出役之もの之儀二付内談有之、書付受

取○小林源作義西丸御用懸之儀、錠太郎・為弥江及内談○四つ半

時過歸○役所出勤、例刻歸宅

一、岡村又兵衛来、逢

同廿七日 晴 暑九十三度

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断歸宅

一、松永善之助来、逢

同廿八日 晴 暑九十四度

一、例刻出勤、同断歸宅

同廿九日 晴 暑九十五度

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断歸宅

六月朔日 晴 暑九十三度

一、暁八つ時過本所回向院前町屋出火二付、即刻出宅、本所牢屋敷為

見廻相越、追々鎮火二付、齋藤同道、場所引払○和田勝兵衛出火

見廻申置、八つ半時過歸宅

一、朝五つ時過出宅○下御勘定所江出ル○<sup>平出</sup> 御殿江出ル○月並御礼

申上ル、九つ時前歸○役所出勤、例刻歸宅

一、福田八郎右衛門江返書封、其右衛門江渡

同二日 半晴 暑八十五度

一、例刻出勤、同断歸宅

同三日 小雨曇 土用九時八分 暑八十度

- 一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅
- 一、安藤正三郎来、留守不逢

同四日 曇冷氣

- 井戸对馬守 是乃斎藤同伴 伊勢守殿
- 大和守殿 和泉守殿 但馬守殿
- 丹波守殿 池田播磨守 一色丹後守殿
- 安芸守殿 備前守殿 右京亮殿
- 越中守殿 紀伊守殿 玄蕃守殿
- 伊賀守殿 ○下御勘定所平出 御殿江出ル
- 主膳正殿 本多加賀守殿
- 九つ時帰○役所出勤、例刻帰宅

- 一、暑中見廻来人有之
- 一、佐々木信濃守江書状為持遣又
- 一、杉浦正一郎来、留守不逢
- 一、高木茂久左衛門淀金子持参、直ニ渡遣又
- 一、勝手口脇普請、今日乃取懸

同五日 曇小雨 冷氣

- 一、例刻出勤、九つ時過帰宅
- 一、九つ半時過出宅、暑氣見廻
- 堀田大隅守 岡田利喜二郎 田口加賀守

- 石河土佐守 河野七太郎通 竹内清太郎
- 松平河内守殿 久須美佐渡守通 立田岩太郎
- 都筑金三郎<sup>△</sup> 大澤三七郎通 石尾彦四郎通
- 夕七つ時過帰宅 △井上三郎右衛門
- 一、暑中見廻、来人有之

同六日 曇夕晴

- 一、朝五つ時過出宅、暑氣見廻
- 勝安兵衛通 内藤茂之助 河嶋才右衛門
- 塚越 藤助 小高登一郎 豊田藤之進通
- 杉浦正一郎通 関保右衛門通 本多 寛司
- 柑本兵五郎 松本十郎兵衛
- 九つ時過帰○役所出勤○評席申渡有之○例刻帰宅

- 一、暑中見廻来人有之
- 一、大澤三七郎来、留守不逢
- 一、奥村季五郎・明珍主水来、逢
- 一、丹羽莊四郎来、留守不逢

同七日 曇昼後晴 暑

- 一、朝五つ半時過出宅、平出 御殿江出ル○石井鐘之助御作事仮役願書
- 高橋鍾之助江出ス○九つ時帰○役所出勤、例刻帰宅
- 一、新五郎呼奇、縁談之儀申談

一、朝小泉久太郎来、逢

同八日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、酒井右京亮殿江暑氣見廻、茶壺折文通にて相贈ル、移菓子折来ル

一、後藤一兵衛江同断、右菓子折遣、受取来

同九日 曇

一、例刻出勤、同断帰宅

一、金井伊大夫来、申置

一、酒井右京亮殿家来江文通、及再報

一、暑氣見廻来人有之

一、龍太郎、高輪右京殿屋敷江砲術稽古ニ参

同十日 晴昨夜雨

一、天王祭礼ニ付、役所休日、例年之通御屋敷内江神輿巡行有之、年

番望月

一、豊田敬之助来、逢

一、小泉様方御書・看到来、返書上ル

一、内藤茂之助江暑氣見廻看遣久、返書移到来

一、孫八郎忤連来、逢

一、松村文蔵来、逢

同十一日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、浅井宗寿来、逢

同十二日 半晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、市村丈右衛門来、逢

一、昼後役所再出、船橋五日市村ニ罷在候元次郎義、変死いたし候一件吟味、同村由松・丹蔵入牢申付ル

同十三日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、小野朝右衛門当月五日病死廻状、忤方廻ル

一、関妻江おきく方暑氣見廻遣久

同十四日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、青山方文通、野菜物到来、受取為遣候

同十五日 晴

一、山王祭礼ニ付、役所休日

一、右祭祀三付、おかよ・おみち(平出) 松栄院様御住居江参、明六つ半時過出宅、今日一宿之積

時過(平出) 御成、八つ半時過還(平出) 御例之通兩度(平出) 御目見いたす

同十六日 晴暑

御規定

一、朝五つ時過登(平出) 城○嘉祥御規式ヨリみづ頂戴いたす○河内守殿江齋藤一同野廻取締之儀、私領之向者自分方ニ而申渡相濟候段、書付差出、江川支配所之分同人書上共上ル、五味与三郎江川書

○御供揃六つ半時前 御成 御船  
○若年寄朝但馬守殿 還御 陸

上志通相返ス○高橋鍾之助乃丹波守抱屋敷之儀談有之○九つ時過歸○望月江着歛、齋藤一同申置、帰宅

○同夕安芸守殿 ○一統御葉被下有之  
○式度目御賦有之

一、望月新八郎家内一同着いたし候由、昼後新八郎来、逢

同十九日 晴

一、今日於(平出) 御殿、勝田・林部乃佐々木道太郎懸屋戸谷半兵衛弁納金之儀ニ付、自分組合ニ付差加、可及評議巨河内守殿、助左衛門を以被仰聞候由談有之、承知之旨及挨拶

一、例刻出勤、同断帰宅○帰懸、昨日諸色残物其外見分いたす

一、望月江齋藤連名ニ而参候義断遣、夕刻重詰到来

一、望月人来、逢、縮緬壹反土産ニ到来

一、望月江齋藤連名ニ而参候義断遣、夕刻重詰到来

同廿日 晴

同十七日 晴暑九十一度

一、例刻出勤、同断帰宅

一、例刻出勤○評席吟味物有之○同断帰宅

一、明十八日浜御庭(平出) 御成被 仰出候段、御勘定所乃達有之ニ付、例之通諸色見分いたす

同廿一日 晴

一、例刻出勤○評席吟味物有之○同断帰宅

一、役所頼合

同十八日 晴昼後曇雷気雨

一、暁七つ時過御用屋敷六つ廻(平出) 出宅、明六つ時浜茶所江着、朝五つ

一、留守江青山録平来、申置

一、朝五つ時出宅、亀沢町屋敷江参、おきく・おかよ・おみちも参、土用干いたす、暮六つ半時、一同帰宅

同廿二日 晴風

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、中田力義、役所見習申渡

一、豊田敬之助来、逢

同廿三日 晴

一、朝五つ半時出宅、去々戌御年貢皆済御届書并場所替二付、郷村受

取渡相济候御届書共如左出入、望月同伴

伊勢守殿 三富甚左衛門

主膳正殿 中久喜千司

右相仕廻、下御勘定所江出ル○富永惣五郎西丸御普請増懸願書、

和田勝兵衛江出ス○佐々木道太郎江戸谷半兵衛不納弁納之義書上

下書、可差越旨申談○小笠原太左衛門江縁談之儀申談○御殿江出

ル○前条惣五郎願書、後藤錠太郎江出ス○高橋鍾之助江尚太郎逢

之儀、申談○九つ時帰○役所出勤、例刻帰宅

昨廿二日之分

一、去ル十九日川尻式部少輔江用人青山武左衛門差越、石賀新五郎方

江申来候者、忝河尻帯刀江おおよ義縁談取結度段申聞候旨新五郎

申聞候二付、今日同人式部少輔方江差遣、相談可致旨申遣、右武

左衛門引合候処、式部少輔父子共留守二付、妻ニ申聞候段、武左

衛門相答候由、新五郎申聞ル

同廿四日 晴暑九十三度余

一、例刻出勤、同断帰宅

一、戸田嘉十郎江文通、河尻方内聞之義、頼遣ス

同廿五日 晴暑九十二度

一、例刻出勤○宮久保村喜右衛門、相手同村甚蔵打擲出入、及吟味○

同断帰宅

一、杉浦正一郎来、逢

一、市村丈右衛門来、溝口孫四郎方江参り、河尻方之儀承合来、又逢

同廿六日 昨夜江雨涼気

一、例刻出勤、同断帰宅

一、後藤一兵衛江之一書、尚太郎江渡遣ス

一、戸田江文通、及返書

一、ひて来、逢

一、夜分宗寿来、逢

同廿七日 朝雨晴夕雷気

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、戸田江文通、返書遣ス

一、久須美順三郎来、キンコ団扇到来、夜四つ時帰ル

同廿八日 晴

- 一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所江出ル○戸田江河尻方様子承ル○  
御殿江出ル○鍾之助平出鳥居丹波守殿物揚場之儀三付、談有之、  
書物受取○関二逢、書付受取○九つ時帰○役所出勤○評席申渡有  
之○例刻遅又帰宅
- 一、龍太郎、西井源二郎方江參、船越方様子問合西井父子逢候趣

同廿九日 晴過雨

- 一、例刻出勤○船堀村地所出入、及吟味○同断帰宅
- 一、朝佐々木道太郎来、懸屋弁納金書上下持參請取、及談

七月朔日

- 一、例刻出勤、同断帰宅
- 一、河尻式部少輔家来青山武左衛門妻并召使女、朝四つ時比相越、お  
きく・おかよ一同初而逢

同二日 晴

- 一、例刻出勤、同断帰宅
- 一、河尻式部少輔家来青山武左衛門江右賀新五郎又通、おかよ縁組相  
談可致又旨申来、是江可及挨拶旨、新五郎江為申遣候
- 一、定免呼出切紙来

同三日 晴

- 一、朝五つ半時出宅○下御勘定所江出ル○定免切替伺書江宅冊伺之通相  
濟、小高登一郎達、例之通承付いたし、懸江返入、斎藤名代兼  
同人分も宅冊相済同様取計○石川新助江中村仁左衛門跡之儀に  
付、内頼申聞ル○小笠原太左衛門江河尻方之儀内談いたす○高梨  
官兵衛抱入内伺書登一郎江出ス○平出御殿江出ル○明後五日龍太  
郎大森村町打場江手伝・稽古御越候御届出書、斎藤伴御届出書一  
同高橋鍾之助江出ス○九つ時帰○役所出勤○評席申渡有之○例刻  
帰宅
- 一、夕刻小泉久太郎来、逢

同四日 晴

- 一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅
- 一、其右衛門・新五郎呼寄、河尻方之儀及談
- 一、朝正一郎来、逢
- 一、宗寿来、逢

同五日 晴

- 一、例刻出勤○二ノ江村寺社一件及吟味、其外申渡有之○同断帰宅
- 一、龍太郎・小泉久太郎・斎藤辰吉同伴、大森村町打稽古相越、曉七つ  
半時、馬二參ル、夜五つ半時帰宅

一、望月の文通、麦藁細工到来、返書・移遣又

一、今朝新五郎、河尻家来青山武左衛門方江罷越候由、申聞ル

同六日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

但役所半引之処、御用多居残

一、茂久左衛門江金子渡遣又

一、御藏奉行福王三郎兵衛飛の郡代被 仰付候由

同七日 晴

一、朝五つ時登平出城、七夕御礼申上ル、四つ半時過帰宅

一、中村伝之助江文通、留守受取来

一、市村丈右衛門来

同八日 晴

一、例刻出勤○高富村利害願、亀戸村勘定出入及吟味○同断帰宅

一、朝小林其右衛門、河尻家来青山武左衛門方江罷越、引合候趣申聞ル

一、遠藤但馬守殿御勝手懸、森川出羽守殿若年寄被 仰付候

一、福王三郎兵衛御役替吹聴申置

同九日 朝雨昼後晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、朝河尻家来青山武左衛門、新五郎宅江罷越、同人并其右衛門面会いたし候趣、昼後同人申聞ル

一、佐々木道太郎の文通、戸谷半兵衛滞金仕訳書冊差越又、及返書

一、望月の酒差越文通、及返書

同十日 曇

一、朝五つ時過出宅○遠藤但馬守殿御勝手懸被 仰付候歎申置○森川出羽守殿若年寄被 仰付候歎申置、四つ時過帰宅

一、例刻出勤○評席有之○同断帰宅

一、勝田江文通、新五郎江渡又

一、おかよ・おみち浅草観音江参詣

一、岸本督五郎養子為取極、其右衛門・昇三郎一同先方江罷越候よし

同十一日 雨

一、例刻出勤○落着申渡有之○同断帰宅

一、岡田利喜二郎切紙、定免呼出来

一、右名代齊藤江頼遣又

同十二日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、久須美権兵衛来、逢

同十三日 曇夕晴

一、今日乃十六日迄役所休日

一、明六つ半時出宅○一色丹後守江田安家老被 仰付候歎申置○清岸

院江参詣、おきく参一同平出 御牌前拝礼 御墓参致入、通三丁目

二而休息、九つ時過帰宅

一、小林其右衛門出逢○おたの・督五郎身分片付方之儀二付、新五郎

連名書取相渡

一、勝田江之老封、其右衛門江為相渡候

同十四日 曇

一、朝五つ半時過出宅、浅草東漸寺平出 岸本様 御墓江参詣、四つ時

過帰宅

一、明十五日西丸平出 御成達有之

同十五日 曇昼後晴

一、今日六つ半時前御供揃二而 西丸浜御成有之、出役齊藤、望月見

習

一、勝田乃早朝文通、瀬左衛門之事及返書

一、右之趣、元乃共江申達

一、宗寿来 逢

一、明十六日新部屋申合達有之、越中守殿・御目付青木新五兵衛

同十六日 晴

一、朝五つ半時出宅○望月同伴○下御勘定所江出ル○平出 御殿江出ル

○明後十八日田安殿箱崎屋敷御通抜、新部屋申合有之、望月見習

二出、伝達いたす、御台所頂戴、九つ時帰○御鷹野役所出勤、無

程帰宅

同十七日 晴暑九十一度

一、例刻出勤、同断帰宅

同十八日 半晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、大川筋田安箱崎屋敷平出 御成有之、出役望月

一、明十九日新部屋達有之

同十九日 雨

一、例刻出勤、同断帰宅

一、新部屋申合、望月出ル

同廿日 雨

一、例刻出勤、同断帰宅

一、佐々木道太郎江之老封、鉦蔵江渡遣入



一、内藤勝太郎の文通、市十郎殿不快之旨為知申来、受取遣ス  
一、望月の文通、明日出役繰替申越、承知之返書遣ス

同廿一日 風雨

一、晝七時半時過焚出場見廻相越、一旦帰宅  
一、大川通 御成、浜町一つ橋屋敷 御通拔ニ付、明六つ時過出宅、  
廉蔵・惣五郎召連ル、浜町屋敷江相越、扨後ニ付、直ニ 御揚場  
江相廻ル、朝五つ時前 御着船、昼八つ半時過還 御、例  
之通両度 御目見いたす、小尊請方鈴木紛左衛門一同出ル

御規定

○御供揃六つ半時前 ○若年寄 但馬守殿  
安芸守殿

○御成 御船 ○御目付一色邦之助  
還御

但風雨ニ付還 御、陸ニ成ル ○式度目御賦無之

右相濟、御庭内見いたし、夕七つ半時比帰宅

一、河尻式部少輔使者青山武左衛門相越、木々田源太夫面会いたし候  
処、忤帯刀江おおよ義縁組取結度旨、式部少輔申聞候段申述ニ付、  
出役留守ニ付、是方可有挨拶旨申聞遣候由、申聞ル、右使者麻上  
下ニ而参候由

一、佐々木道太郎入来、申置候由

一、望月妻今朝男子出産いたし候由申来、及返書

同廿二日 風雨

一、例刻出勤○同断帰宅

一、河尻式部少輔方江木々田源太夫差遣、昨日申込有之候おおよ縁談  
之儀、任申相談可致旨挨拶申遣、先方ニ□し麻上下ニ而参候よし、  
青山武左衛門江面会、右之趣申述候処、今日者父子とも留守ニ付、  
奥方江申聞置候段申聞候よし

一、佐々木道太郎江之文通、弴蔵江渡遣ス

一、内藤勝太郎江文通、市十郎殿病氣見廻、重詰相贈ル、返書来ル

同廿三日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、佐々木道太郎の昨日之返書、弴蔵持参

一、同人江文通、返書来ル

一、明曉差上候墨田村御前裁畑水瓜二籠見分、封印いたす  
但雄太郎持参いたす

同廿四日 晴

一、朝五つ半時出宅○下御勘定所江出ル○勝田・林部江佐々木一条引  
合○ 御殿江出ル○石賀新五郎養置願書、後藤一兵衛江出ス○  
関る下水浚之儀内談有之○九つ時帰○役所出勤○落着物口書評  
席有之○勝田江之笔封、其右衛門江渡ス○例刻帰宅

一、金井伊大夫来、逢

一、支配所川々出水届追々出、水防手代共追々出ス○東葛西笹ヶ崎村

外島切所届出又

一、夜二入勝田方文通、及返書

同廿五日 晴昨夜雨

一、例刻出勤、同断帰宅

一、早稲方為検見、小林其右衛門・松野斎輔遣、今朝出立

一、林部方文通、出役便<sup>二</sup>而來、返書明日可相届旨、章十郎江申付ル

一、二云平領樋口村飛地切所届出ル

一、青山武左衛門宅江源大夫差遣又

一、望月江出産歎、源大夫を以鯉一尾遣又

同廿六日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、内藤勝太郎江文通、市十郎殿病気見舞、時雨饅頭・すし遣又

一、石寺八蔵方之書状到来

一、川々追々減水、出役手代共追々ニ帰着いたす

同廿七日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、河尻家来<sup>ル</sup>源大夫江文通、明日於<sup>平出</sup>御殿、式部少輔逢候義申来

承知之旨為及返書候

一、杉浦正一郎来、逢、小泉久太郎同断、逢

一、岡田利喜二郎一紙、定免呼出来

同廿八日 半晴

一、朝五つ時早メ登<sup>平出</sup>城○月並御礼申上ル○河尻式部少輔江於御廊

下、初而逢○下御勘定所江出ル○定免何五冊小高登一郎方相達○

九つ時過帰○役所出勤、例刻帰宅

同廿九日 曇昼後雨

一、例刻出勤、頼合、九つ時帰宅

一、御母様浅草観音江御参詣、おきく・おかよ・おみちも参詣、八つ

時過御帰、外一同帰ル

同晦日 曇

一、例刻出勤○評席申渡有之○半引之処、御用有之、例刻帰宅

一、勝権一郎来、家督吹聴、逢

八月朔日 半晴

一、朝五つ時登<sup>平出</sup>城○八朔御礼申上ル○九つ時帰宅

一、御鳥見組頭方駒場加勢出役取人書付、斎藤受取、同人方差越候<sup>二</sup>付

帰宅之上、御鷹野役所江為持遣、小笠原勝二郎江相渡候由、申聞

ル

一、五味与三郎切紙、明二日四時呼出申来ル

一、八朔為礼、来人有之

一、齋藤方文通、押切帳差越、及返書

同二日 雨

一、朝五つ半時出宅、下御勘定所江出ル○去々成年地方勘定帳御加印

濟、和田<sup>勝</sup>兵衛方受取○四つ半時過歸○役所出勤○評席申渡有之

○例刻帰宅

一、昼後佐々木道太郎来、懸屋滞金之儀申談

一、勝田方文通、松井助左衛門方相渡候達書写差越、及返書

一、林部江文通、返書来ル

一、齋藤今日早稲検見出立

一、横山町抱屋敷家守役清二郎悴清七江申付、受人藤七一同呼出、為

申渡受状取之

男 淳 沢 西

同三日 曇

一、例刻出勤○評席申渡有之○九つ時退散○評定所江罷出、松井助左

衛門江佐々木道太郎懸屋滞金之儀二付、及内談、八つ時帰宅

一、家主清七礼二出ル

一、源大夫、青山武左衛門方江參候由

同四日 雨

一、例刻出勤、九つ時過歸宅

一、松坂屋利兵衛来、逢

一、勝田次郎方江罷越、逢、佐々木滞金一条、及談判、夕帰宅

同五日 曇晴昼過雨

一、例刻出勤、同断帰宅

一、齋藤今日昼歸府之旨、申来

一、大草方文通、抱一懸物来、受取為遣ル

一、新御番小林茂十郎来、抱屋敷讓受届書持參、受取候段申遣ス

同六日 曇

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、河尻家来江源太夫方為及懸合旦候

一、家主清七呼寄、逢

一、井戸忠七来、逢、大小拵申付ル

一、大草江昨日之返書、懸物代遣、受取来

一、河嶋才右衛門切紙、明日定免呼出来

同七日 半晴

一、朝五つ半時出宅、下御勘定所江出ル、定免、同検見取之積、河嶋

才右衛門申達、林部・小田一同達同断○評定所江出ル、松井助左

衛門江逢、佐々木道太郎滞金之義申談、巳年已来当子迄組合姓名

書一冊出ス○九つ時歸○役所出勤○評席申渡有之○例刻帰宅

一、岡村又兵衛来、逢、大工吉五郎呼寄、鉄砲台申付ル

一、内藤勝太郎江文通、市十郎殿病氣見廻、玉子焼・蛭焼遣

一、関捨四郎来、逢

同八日 雨

一、例刻出勤、同断帰宅

一、松永善之助、明後十日羽州江為検見出立いたし候由暇乞、逢

一、河嶋才右衛門切紙、明日四時呼出来

同九日 雨

一、朝五つ半時過出宅、下御勘定所江出ル、山口瀬左衛門暇伺書相済

河嶋才右衛門江達有之、承付いたし、懸江返ス平出 御殿江出、九つ

時帰平出○役所出勤、例刻帰宅

一、関保右衛門江奉札、明日五つ半時被為平出 召候段、為知来ル

同十日 雨朝五つ時過大風雨、九つ時比収雷気

一、例刻出勤、同断帰宅

一、八つ時出宅、関保右衛門方江望月同道相越ス、待受いたす、川村

对馬守跡新潟奉行被 仰付候、式百俵高江御加増被成下候由、暮

六つ時比帰宅

一、関江為知奉行来

一、齊藤江文通、明日評定所江呼出、松井助左衛門切紙差越、及返書

同十一日 晴

一、朝四つ時出宅○評定所江出ル、松井助左衛門江面会、同人江佐々

木道太郎滞金償方之儀、御代官一躰江取計方之旨、談有之、齋

藤今日出役江付、其段申達、同人江申通候様助左衛門申聞ル○四つ

半時過帰平出○役所出勤、例刻帰宅

一、今六つ時前、御供揃二而御浜御庭江平出 御成、暁七つ半時御供揃

二而同所江平出 線姫君様御入二付、望月・齋藤出役交代

一、山口瀬左衛門妻来、逢

同十二日 曇夜雨

一、朝四つ時比、おるち下宿いたす、坂上玄文来、診察為致ル、夕七つ

時過平出 御殿江上ル

一、例刻役所出勤、九つ時帰宅

同十三日 曇

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、勝田江文通、及返書、佐々木一条

一、林部江文通、返書来ル、同断

一、市村丈右衛門来、逢

一、夕勝安兵衛来、逢

同十四日 曇夕る雨

吉田善四郎

一、例刻出勤○評席申渡有之○頼合、昼九つ時帰宅

右之もの共呼出、戸谷半兵衛滞金弁納調達方申達、書取相渡、勝

一、昼後出宅○福王三郎兵衛江御役替歎申置○亀沢町江相越、おきく

田・林部一同出席申達、右相濟、昼飯被振廻、九つ時過帰○役所

参り居、用事相弁、暮六つ時過帰宅

出勤○評席申渡有之○例刻帰宅

一、佐々木道太郎元締共、明後十六日勝田江可罷出旨、元締共を為申

一、松平出羽守使者、袴地二・交肴・蠟燭到来

達候

同十七日 半晴

同十五日 曇夕雨

一、例刻出勤、同断帰宅

一、朝五つ時出宅○下御勘定所江出ル○福井大五郎手付当分出役願書

一、河嶋才右衛門切紙、明日定免呼出有之

河嶋才右衛門江出ス○<sup>金出</sup>御殿江出ル○月並御礼申上ル○四つ半

一、右三付、斎藤を文通、望月江往答、明日望月、自分・斎藤名代兼

時過帰○役所出勤、九つ時帰宅

罷出候積申越、同人江及通達

一、河嶋才右衛門切紙、明日定免呼出来、望月江名代頼

同十八日 晴

同十六日 雨風

一、朝豊田藤之進來、逢

一、朝五つ半時過出宅、勝田次郎方江相越、林部善太左衛門も相越

一、九つ時出勤○下総<sup>武蔵</sup>国寄眷村質地出入及吟味○定免呼出、望月名代

佐々木道太郎

相勤、今日にて定免何不残相濟○例刻帰宅

元々加判手付手代

一、河尻家来江縁談之儀二付、源太夫を為及書通候受取来候由

三上理十郎

一、松坂屋利兵衛来、逢

吉江精一郎

西山晋四郎

同十九日 晴

村尾 理平

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

木村 森助

一、市村丈右衛門来、逢、溝口江参

男 淳 沢 西

一、朝三上理十郎来、不逢

同廿一日 晴

一、朝五つ時過出立、検見廻村○西葛飾領隅田村検見、木母寺境内植

木屋半右衛門宅春法、弁当○亀有村当子新田検見、同村百姓忠三

郎宅春法、小休、同村小梅村迄引舟申付ル、夕七つ時過帰宅

但宮部孫八郎・中山昇三郎召連ル

一、林部方文通、佐々木道太郎元々共、昨日勝田江差出候由之書面差

越、受取遣置候由

一、前条廻村之節、隅田村御困毅并同村困毅見分いたし、御困蔵者直

封印いたす

同廿一日 朝雨昼前々晴

一、今四時之御供揃<sup>三</sup>而三九江被為<sup>平出</sup> 成、即刻御供揃<sup>三</sup>而<sup>平出</sup> 晴光院

様御住居<sup>平出</sup> 御通抜二付、今朝齋藤出役、為交代九つ半時過出

宅、平服<sup>三</sup>而酒井雅楽頭屋敷江相越、昼飯・料理出、八つ時過齋

藤退散、小普請方黒川嘉兵衛・改役一同話所出ニ罷在、夕飯折詰

出ル、暮六つ半時還<sup>平出</sup> 御、直三退散、六つ半時過帰宅

一、勝田江文通、佐々木道太郎元々差出候書面返入、返書来

一、林部江昨日之返書遣入

同廿二日 曇 夜九つ半時過大風雨暁収

一、例刻出勤○下総国上山新田質地出入、及吟味○同断帰宅

一、内藤勝太郎来、逢、市十郎殿当月十三日出勤被致候よし

同廿三日 風晴

一、例刻出勤○同断帰宅

一、浅井宗寿来、逢

一、家主清七来、願之通金拾貳両貸渡遣入

一、井戸忠七来、逢

同廿四日 晴

一、例刻出勤、頼合、九つ時前帰宅

一、関保右衛門江結状<sup>三</sup>而御役替歎、仙台平袴地一具・鯉節一箱遣入

一、九つ時過出宅、おきく・おかよ・おみち同道、舟<sup>三</sup>而州崎弁天・

深川八幡参詣、暮六つ時過帰宅

一、諏訪庄右衛門来、留守故申置候由

同廿五日 曇

一、例刻出勤、同断帰宅

一、例年之通施餓鬼二付、清岸院江為代香源太夫差遣入

同廿六日 晴

一、朝勝田方文通、今日評定所江出、佐々木一条助左衛門江談之義申越、

及返書

同廿九日 曇夜雨

一、五つ半時過出宅○下御勘定所江出ル（平出） 御殿江出ル○勝田・林部同伴、評定所江出ル、松井助左衛門江逢、佐々木道太郎元共差出候書付、助左衛門江相渡、都合金三百両弁納可致旨申上立候段、申談○九つ時過歸宅

一、例刻出勤○評席申渡有之○九つ時過歸宅  
一、九つ半時過出宅、亀沢町屋敷江參、所々掃除為致、暮合歸宅  
一、茂久左衛門留守江相越、淀金子持參受取候由

一、九つ時過出宅、亀沢町江參、庭中掃除取片付為致ル、おきく・おかよ・おみち深川近藤方墓參方相廻參同伴、暮六つ半時過歸宅

同廿七日 曇

男  
一、例刻出勤、九つ時過歸宅  
一、九つ半時過出宅、亀沢町屋敷江參、所々為致掃除、夕刻退散○関保右衛門方江參、逢、同人不快二面平臥いたし居、夜九つ時歸宅  
西  
一、青山武左衛門源太夫江文通有之、受取遣候由

同廿八日 晴夕曇

一、朝五つ半時過出宅、下御勘定所江出ル、岡田利喜二郎方大橋際樋損場見守番小屋之儀三付内談有之、一件書物受取○美濃部七兵衛方御鷹野方見習願出候儀談有之、書物受取○御用屋敷御修復目論見帳之儀、同人を談有之、引合、九つ時歸○役所出勤、例刻歸宅  
一、朝福王三郎兵衛來、暇乞二來逢  
一、青山武左衛門江源太夫を昨日之為及返書候